

平成4年版

数字で見る図書館活動

調布市立図書館

図書館の自由に関する宣言

図書館は、基本的人権のひとつとして知る自由をもつ国民に、資料と施設を提供することを、もっとも重要な任務とする。

この任務を果たすため、図書館は次のことを確認し実践する。

- 第1 図書館は資料収集の自由を有する。
- 第2 図書館は資料提供の自由を有する。
- 第3 図書館は利用者の秘密を守る。
- 第4 図書館はすべての検閲に反対する。

図書館の自由が侵されるとき、われわれは団結して、あくまで自由を守る。

社団法人 日本図書館協会

(1979年5月30日総会決議 〈改訂〉 主文)

図書館員の倫理綱領

この倫理綱領は、「図書館の自由に関する宣言」によって示された図書館の社会的責任を自覚し、自らの職責を遂行していくための図書館員としての自律的規範である。

(図書館員の基本的態度)

第1 図書館員は、社会の期待と利用者の要求を基本的なよりどころとして職務を遂行する。

(利用者に対する責任)

第2 図書館員は利用者を差別しない。

第3 図書館員は利用者の秘密を漏らさない。

(資料に関する責任)

第4 図書館員は図書館の自由を守り、資料の収集、保存および提供につとめる。

第5 図書館員は常に資料を知ることにつとめる。

(研修につとめる責任)

第6 図書館員は個人的、集団的に、不断の研修につとめる。

(組織体の一員として)

第7 図書館員は、自館の運営方針や奉仕計画の策定に積極的に参画する。

第8 図書館員は、相互の協力を密にして、集団としての専門的能力の向上につとめる。

第9 図書館員は、図書館奉仕のため適正な労働条件の確保につとめる。

(図書館間の協力)

第10 図書館員は図書館間の理解と協力につとめる。

(文化創造への寄与)

第11 図書館員は住民や他団体とも協力して、社会の文化環境の醸成につとめる。

第12 図書館員は、読者の立場に立って出版文化の発展に寄与するようつとめる。

日本図書館協会は、わが国の図書館の現状にかんがみこの倫理綱領を作成し、提唱する。本協会はこの綱領の維持発展につとめると共に、この綱領と相いれない事態に対しては、その改善に向けて不断に努力する。

社団法人 日本図書館協会

(1980年6月4日総会決議)

平成4年版

数字で見る図書館活動

目 次

I 調布市の概況	1	VIII 集会・学習活動	45
1 人 口	1	1 集会・学習活動の状況	45
2 予 算	4	2 行 事	45
II 図書館の概況	9	3 第20回図書館まつり	47
1 運営方針	9	4 調布ブッククラブ	48
2 平成3年度 図書館活動	9	IX 視聴覚ライブラリー	55
3 施設概況	12	1 事 業	55
4 図書館配置図	13	2 視聴覚教材・機材の利用状況	56
III 各館の概要	14	X 将来計画と新中央図書館構想	59
IV 各館の事業	20	XI 資 料	65
1 子ども対象の事業	20	1 運営組織	65
2 成人対象の事業	23	2 分掌事務	65
V 蔵書の状況	24	3 開館日と休館日	66
VI 利用の状況	28	4 開館日数と開館時間	66
1 登 録	28	5 組 織 図	67
2 市内小中学生の登録状況	31	6 年度別職員数の推移	67
3 貸 出	37	XII 年 表	68
VII ハンディキャップサービス	40		
1 朗読サービス	40		
2 点訳サービス	43		
3 大型活字本・拡大写本サービス	43		
4 子どもへのサービス	43		
5 PR活動	44		
6 ボランティアの養成とボランティアグループ	44		

I 調布市の概況

昭和30年、調布町と神代町が合併して調布市が誕生した。

この地域では、多摩川の清流を利用して、昔から布づくりが盛んに行われていた。この布は税である調として、朝廷に納められ、調布（たづくり）の名で呼ばれた。調布の名称はこのように布の産地であったことと、律令制度による調として布が納められたことに由来している。

調布市は、東京都のはほぼ中央部、多摩地区の南東部に位置し、都心部へ約24kmの距離にある。市域の広がり、東西7km、南北5.7km、面積21.53km²で、東京都全体の約1%にあたる。市の東西方向には京王線と甲州街道が走り、ほぼ北東から西南にかけては中央自動車道が横断している。副都心新宿へも、東へ15km、京王線の特急で15分という典型的な近郊住宅都市である。

地形は、北に向かって高台となる段丘で、武蔵野台地と立川台地に広がっている。土地の高度は神代植物公園北方の台地が最も高く海拔57m、南の多摩川沿いの染地が最も低く、海拔24mとなっている。



1 人口

平成4年1月1日現在、調布市には193,038人が住み、人口密度8,966人/km²で過密状態である。増減を見ると、近年はほとんど自然増だけで横ばい状態であるが、転入転出が激しく、3年度は合わせて年間26,000人にも達している。また、年齢別の人口の構成は、15歳から64歳までは変化が少ないが、0歳から14歳までは減少し、逆に高齢人口は着実に増加している。平成4年1月1日現在、65歳以上の人は18,420人で総人口の9.5%に達しており、調布市も高齢化社会への移行が着実に進んでいることがわかる。

調布市の人口推移表(表I-1)

(数値は1月1日現在)

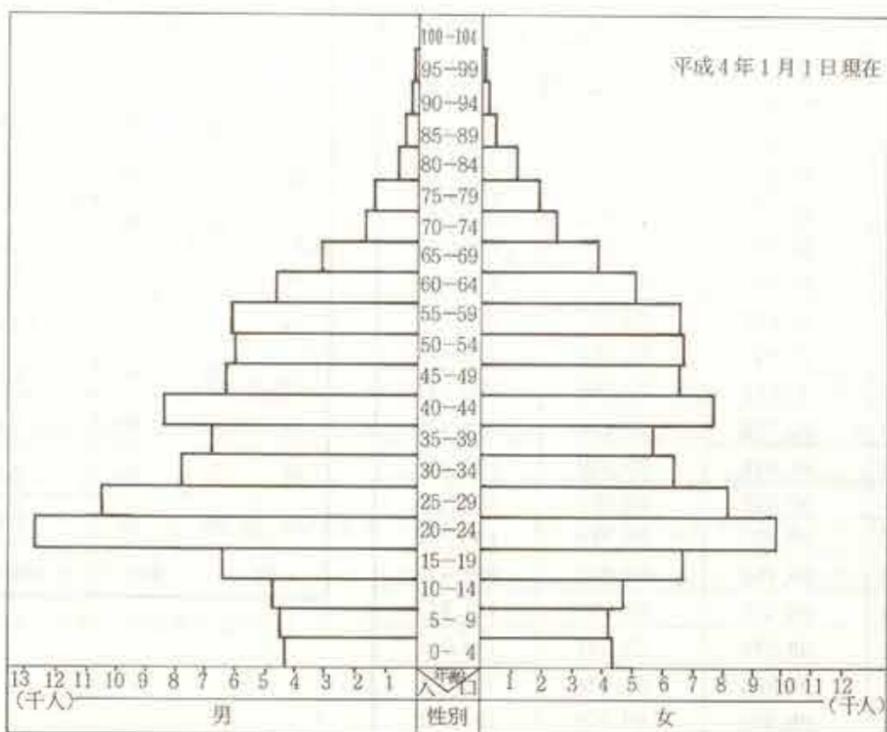
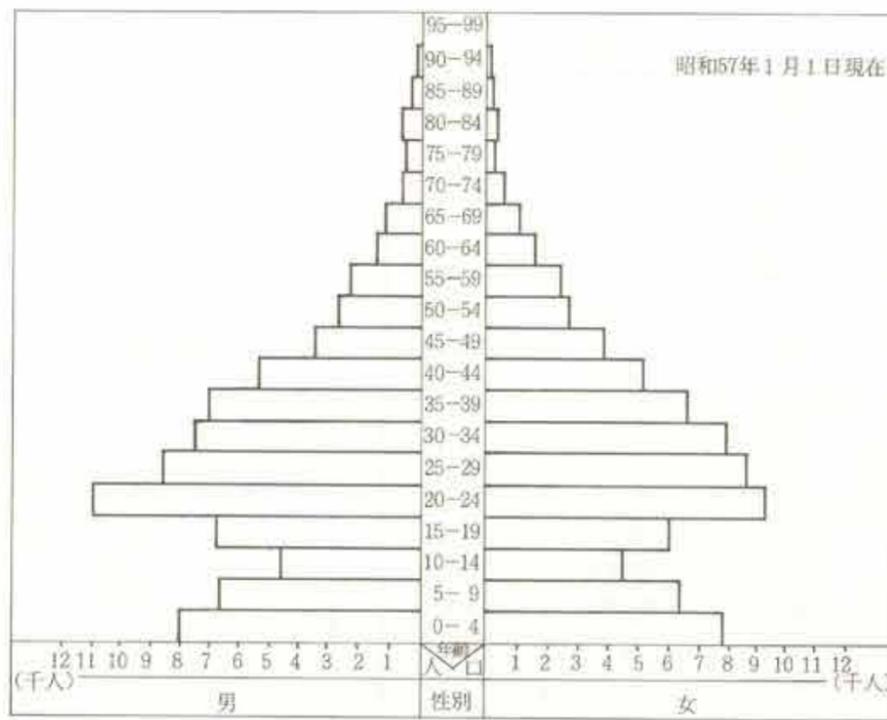
	男	女	合計
S 30	22,755	22,335	45,090
31	23,816	23,255	47,071
32	25,783	25,208	50,991
33	27,594	26,904	54,498
34	30,584	29,315	59,899
35	32,385	31,910	64,295
36	35,425	34,369	69,794
37	39,107	36,760	75,867
38	42,854	40,634	83,488
39	48,278	45,566	93,844
40	52,736	50,247	102,983
41	61,145	58,499	119,644
42	67,434	65,024	132,458
43	70,951	68,860	139,811
44	74,545	71,992	146,537
45	78,250	75,259	153,509
46	81,417	77,609	159,026
47	83,201	79,243	162,444
48	86,514	82,116	168,630
49	88,094	83,187	171,281
50	87,684	82,922	170,606
51	87,819	83,613	171,432
52	88,272	84,338	172,610
53	89,305	85,200	174,505
54	89,806	85,225	175,031
55	89,655	85,035	174,690
56	90,612	85,537	176,149
57	91,863	86,951	178,814
58	92,971	87,760	180,731
59	93,789	88,153	181,942
60	94,914	89,339	184,253
61	96,645	90,599	187,244
62	97,977	91,770	189,747
63	98,757	92,653	191,410
64	98,830	92,981	191,811
H 2	98,678	93,031	191,709
3	98,584	93,434	192,018
4	98,960	94,078	193,038

町別人口(表I-2)

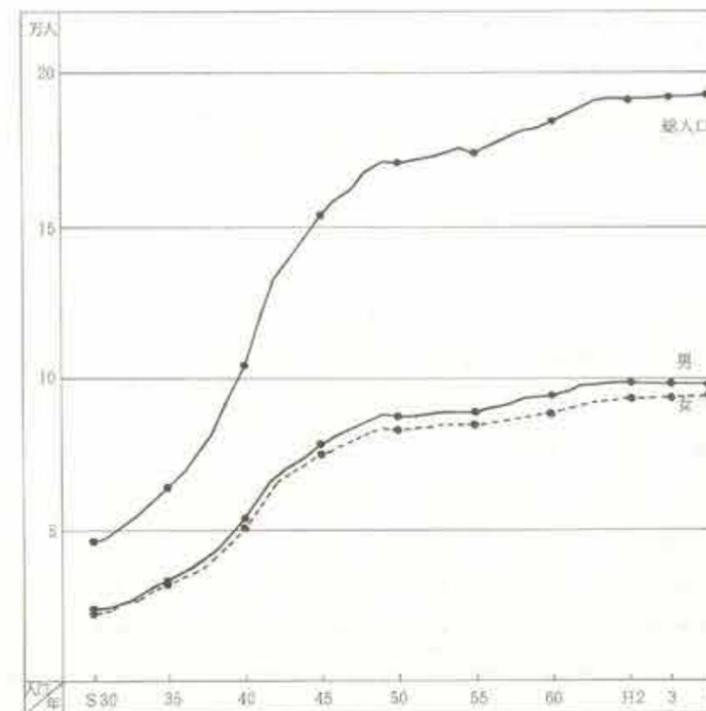
(H.4.1.1現在)

町名	人口
飛田給(野水・西町を含む)	6,452
上石原	8,339
下石原	8,152
多摩川	11,723
富士見町	9,771
小島町	8,142
布田	9,593
調布ヶ丘	6,858
国領町	20,126
八雲台	2,761
染地	15,165
深大寺元町	4,699
深大寺北町	5,831
深大寺東町	9,307
深大寺南町	3,207
佐須町	4,891
柴崎	7,029
入間町	7,140
東つつじヶ丘	4,775
西つつじヶ丘	13,965
若葉町	5,076
仙川町	4,898
緑ヶ丘	7,607
菊野台	7,531
合計	193,038

年齢別男女別人口構成 (図I-1)



調布市の人口の推移 (図I-2)



2 予 算

調布市は、平成2年度からスタートした基本計画に基づく計画事業の推進を最優先として、三つの「み」(みち・みどり・ごみ)に象徴される都市基盤、生活環境の整備を施策の基調とし、さらに、高齢化社会を展望した福祉、調布らしさを育む教育・文化、自立条件の確立に向けた産業の振興などを引き続き重点施策の基本としている。

図書館費について見ると、平成3年度決算額は4億1,006万円で前年度に比べて1億104万円減額となっている。これは、改修工事を実施した館が前年度は2館であったのに対し、3年度は神代・宮の下分館の空調設備工事のみとなっているためである。

しかし、項目別について見ると、各分館の4月からの土・日曜日の午前開館の実施による経費、図書購入費、3年10月からの一部電算化による稼働経費は増額となっている。

また、平成4年度当初予算額は3億6,265万円で、前年度当初予算額に比べて5,160万円減額となっている。これは、改修工事が終了したことによる工事請負費が減少したためである。

次に項目別について見ると、今後の図書館サービスの在り方について、利用者・未利用者に対して、アンケート方式による市民意識調査実施経費500万円、国領・若葉・宮の下分館の電算化による稼働及び深大寺・神代・富士見分館の図書データ作成経費等1,781万円が増額されたほか、市民文庫の発刊経費126万円も計上している。

年度別決算額の推移 (表I-3)

科目	年度								
	S40	41	42	53	54	55	56	57	
市費総額	1,729,966	2,111,464	2,355,029	21,746,176	24,331,014	26,876,122	30,229,207	31,855,245	
指数		100	112	1,030	1,152	1,273	1,432	1,509	
教育費	468,770	486,168	574,563	4,532,321	4,647,420	5,126,437	6,195,692	4,802,891	
指数		100	118	932	956	1,054	1,274	988	
市費に占める割合		23.0%	24.4%	20.8%	19.1%	19.1%	20.5%	15.1%	
図書館費	18,960	5,914	5,946	83,015	134,977	91,971	275,630	127,283	
(図書費)		2,044	2,946	22,004	55,242	35,314	58,291	51,898	
(建設費)	17,348	0	0	0	0	0	151,548	0	
(その他)		3,870	3,000	61,011	79,735	56,657	65,791	75,385	
指数		100	101	1,404	2,282	1,555	4,661	2,152	
市費に占める割合		0.3%	0.3%	0.4%	0.6%	0.3%	0.9%	0.4%	
教育費に占める割合		1.2%	1.0%	1.8%	2.9%	1.8%	4.4%	2.7%	
人口	119,644	132,458	139,811	175,031	174,690	176,149	178,814	180,731	
指数		100	106	132	132	133	135	136	
人口一人当り	市費	14,459	15,940	16,844	124,242	139,281	152,576	169,054	176,258
	教育費	3,918	3,670	4,110	25,894	26,604	29,103	34,649	26,575
	図書館費	158	45	43	474	773	522	1,541	704
	図書購入費		15	21	126	316	200	326	287
図書館分館開館時		中央				染地		佐須	

書籍平均単価		885	883	2,386	2,483	2,635	2,754	2,712
市書籍平均単価		1,212	630	1,089	1,348	1,270	1,315	1,424

- 図書館費に職員の給与等人件費は含まれていない。
- 人口は1月1日現在。
- 40、41年度は開館準備年度と開館年度にあたる。
- 44年度国領分館開館、45年度つづじヶ丘分館開館、46年度深大寺・神代分館開館、47年度宮の下分館開館、49年度富士見・緑ヶ丘分館開館、50年度若葉分館開館。
- 書籍平均単価は「出版年鑑」(出版ニュース社)による。

(単位:千円)

58	59	60	61	62	63	H1	2	3
32,295,852	34,544,398	37,006,648	37,656,662	42,240,488	46,747,909	52,555,125	55,994,720	60,572,820
1,530	1,636	1,753	1,783	2,001	2,214	2,489	2,652	2,869
5,259,307	6,000,325	7,249,014	5,948,019	6,089,547	6,618,625	6,718,605	7,603,677	10,089,005
1,082	1,234	1,491	1,223	1,253	1,361	1,382	1,564	2,075
16.3%	17.4%	19.6%	15.8%	14.4%	14.2%	12.8%	13.6%	16.7%
120,476	176,760	156,042	178,534	215,231	328,991	337,973	511,108	410,062
53,959	49,990	49,955	73,139	85,868	99,989	117,640	150,235	170,467
0	49,350	0	0	0	0	0	0	0
66,517	77,420	106,087	105,395	129,363	229,002	220,333	360,873	239,595
2,037	2,989	2,639	3,019	3,639	5,563	5,715	6,642	6,191
0.4%	0.5%	0.4%	0.5%	0.5%	0.7%	0.6%	1.0%	0.7%
2.3%	2.9%	2.2%	3.0%	3.5%	5.0%	5.0%	6.4%	4.1%
181,942	184,253	187,244	189,747	191,410	191,811	191,709	192,018	193,038
137	139	141	143	145	145	145	145	146
177,506	187,484	197,639	198,457	220,681	243,719	274,140	291,611	313,787
28,907	32,566	38,714	31,347	31,814	34,506	35,046	39,599	52,264
662	959	833	941	1,124	1,715	1,763	2,662	2,124
297	271	267	385	449	521	614	782	883
		(資料 保存庫)						

(単位:円)

2,740	2,751	2,833	2,521	2,449	2,496	2,609	2,764	2,911
1,490	1,456	1,435	2,002	1,881	1,852	1,933	1,931	2,189

図書館費内訳表 (表I-4)

年 度 節・細節	62 年 度		63 年 度	
	決 算 額	%	決 算 額	%
賃 金	2,611,437	1.21	2,726,772	0.83
報 償 費	6,798,496	3.16	8,511,175	2.59
旅 費	664,720	0.31	830,910	0.25
一 般 需 用 費	35,461,333	16.48	40,127,250	12.20
食 糧 費	58,330	0.03	55,100	0.02
役 務 費	3,397,528	1.58	8,400,041	2.55
委 託 料	32,324,164	15.02	32,460,204	9.87
使用料及び賃借料	2,752,470	1.28	4,122,648	1.25
工 事 請 負 費	30,363,000	14.11	112,045,000	34.06
原 材 料 費	92,994	0.04	98,388	0.03
備 品 購 入 費	100,561,863	46.72	119,543,013	36.33
(図 書)	(85,868,053)	(39.90)	(99,988,928)	(30.39)
(機 械 器 具)	(9,510,132)	(4.42)	(9,006,820)	(2.74)
(視 聴 覚 教 材)	(3,088,368)	(1.43)	(3,881,750)	(1.18)
(庁 用 器 具)	(2,095,310)	(0.97)	(6,665,515)	(2.02)
負担金、補助及び交付金	61,600	0.03	61,600	0.02
補償、補填及び賠償金	74,000	0.03	0	—
公 課 費	8,800	0.00	8,800	0.00
合 計	215,230,735	100	328,990,901	100

○ ()内は内訳。

(単位：円)

元 年 度		2 年 度		3 年 度		4 年度当初予算
決 算 額	%	決 算 額	%	決 算 額	%	
8,193,408	2.42	8,742,360	1.71	9,087,080	2.22	9,995,000
13,197,228	3.91	13,797,940	2.70	20,973,440	5.12	22,369,000
859,360	0.25	572,940	0.11	659,330	0.16	685,000
44,269,948	13.10	43,229,310	8.46	49,998,810	12.20	52,072,000
69,709	0.02	76,071	0.01	82,960	0.00	92,000
5,893,946	1.74	8,584,030	1.68	8,234,310	2.01	7,977,000
54,840,386	16.23	82,021,516	16.05	66,064,542	16.11	76,752,000
5,143,659	1.52	5,205,814	1.02	25,960,531	6.33	43,819,000
69,378,740	20.53	168,503,880	32.97	37,422,990	9.13	3,090,000
0	—	0	—	0	—	—
136,050,820	40.26	180,303,378	35.28	191,490,907	46.70	145,647,000
(117,640,120)	(34.81)	(150,235,228)	(29.40)	(170,467,318)	(41.57)	(130,000,000)
(1,546,522)	(0.46)	(542,334)	(0.11)	(11,092,388)	(2.71)	(5,595,000)
(4,490,237)	(1.33)	(5,337,511)	(1.04)	(4,974,063)	(1.21)	(4,479,000)
(12,373,941)	(3.66)	(24,188,305)	(4.73)	(4,957,138)	(1.21)	(5,573,000)
66,100	0.02	61,600	0.01	78,320	0.02	115,000
0	—	0	—	0	—	30,000
8,800	0.00	8,800	0.00	8,800	0.00	9,000
337,972,104	100	511,107,639	100	410,062,020	100	362,652,000

II 図書館の概況

調布市立図書館は、昭和41年に開館して以来、資料の提供と各種事業の実施によって、図書館活動の充実を図ってきた。

また、身近な生涯教育の場として、分館網の整備にも取組み、人口2万人に1館、半径800メートルに1館、2つの小学校区に1館を三原則として、現在、中央館を中心にして10分館が活動を行っている。

調布市立図書館網の中核機関として建設が計画されている新中央図書館は、市民からの要望も多く、平成7年度完成を目指して準備が進められている。

1 運営方針

図書館は、調布市基本計画の理念に基づき、社会の変化に応えるため、市民の生涯学習を支える社会教育活動を目標として、次の基本的な運営方針を設定している。

- (1) 市民の本棚として、気軽に立ち寄れる図書館づくりを目指し、自由に図書館サービスが受けられるように、その内容を充実してゆく。
- (2) 市民の要求を的確に受けとめると同時に、21世紀に向けて、積極的な図書館活動を目指す。
- (3) 子どもにより読書環境を提供するため、各館に独立した児童室を設けるとともに、あらゆる機会をとらえて児童に対するサービスを実施する。
- (4) 市民の身近なところで文化的事業を開催し、図書館資料の活用の拡大を図る。
- (5) 市民に対して充実した図書館サービスを保障するため、種々の機会をとらえて組織的に研修を行い、職員の能力の向上を図る。

以上の基本的な運営方針のもとに、図書館は、多様化するとともに質的に高度化する市民要求に即応できるサービスを実施する。また、地域における市民の自立した学習活動を積極的に援助するとともに、今日までの活動を基盤としてさらに努力を重ね、新しい時代にふさわしい図書館活動を実施する。

2 平成3年度 図書館活動

(1) 重点事業

ア 蔵書の充実

中央館を含む11館がそれぞれ購入計画を立て、各館の規模や地域の要望に応じて、次の点に留意しながら図書を選択し収集した。また、新中央図書館用図書についても、引き続きその充実を図った。

- (ア) 新刊書を中心に、市民のニーズに適應した図書の選択と収集

- (イ) 参考図書、各分野における専門的資料の収集
- (ウ) 郷土資料、行政資料の収集
- (エ) 映画関係資料の収集
- (オ) 参考図書、全集、シリーズものを中心とした新中央図書館用図書の収集

イ 図書館業務のシステム化

新中央図書館建設に向けて本格的な準備作業が開始されたことに伴い、図書館内部においても引き続きその建設計画を策定してゆくとともに、図書館業務のシステム化を図った。

- (ア) 新中央図書館建設計画の策定
- (イ) 平成3年10月から、中央館、染地・佐須分館の資料電算管理稼働
- (ウ) 国領・宮の下・若葉分館の電算化準備

ウ 文化的事業の推進とサークル育成

図書館活動を市民と連携した活動にするため、読書啓蒙事業を行うとともに、市民の生涯学習の積極的な援助をするため、次の事業を実施した。

- (ア) 講演会、講座等を中心とした文化的事業
- (イ) 地域における読書会、文化活動の援助と育成
- (ウ) 調布ブッククラブを中心とした市民団体及びサークルへの援助
- (エ) 第20回図書館まつり

エ ハンディキャップサービスの充実

当面は視覚障害者に対するサービスに重点を置き、ボランティアの養成に取り組みつつ、朗読テープの作成、対面朗読、点字翻訳サービス等を行った。

- (ア) 中級点訳ボランティア養成講座の開催
- (イ) 関係資料（録音図書、大型活字本等）の収集・整備
- (ウ) 図書館利用に障害をもつ人びととの情報交換

オ 視聴覚ライブラリーの充実

集団学習をより効果的に推進するために視聴覚機器及び教材を整備するとともに、視聴覚教育活動の普及を図るため、次の事業を行った。

- (ア) 地域における映画会等への援助・協力
- (イ) 視聴覚機器類の利用指導
- (ウ) 16ミリ発声映写機操作認定講習会の開催
- (エ) 16ミリ発声映写機検定の実施

(2) 日常的事業

ア 各館事業

各館では、資料の閲覧・貸出業務と平行して、次の事業を行った。

- (ア) 幼児、児童を対象とした事業（おはなし会等）
- (イ) 成人対象事業（地域講演会、地域読書会等）
- (ウ) 学校、幼稚園、保育園等を対象とした協力事業
- (エ) 団体、サークル等、他機関との協力

イ 広報事業

- (ア) 「図書館だより」の発行
- (イ) 中学生通信「ぶちねて便」の発行
- (ウ) 各種広報誌の発行

(3) 施設の整備

各館の蔵書能力を向上させ、併せて、市民に快適な読書環境を提供するため、次の事業を実施した。

- ア 深大寺・神代分館の大型書架の入替え
- イ 神代・宮の下分館のホイラー取替え工事

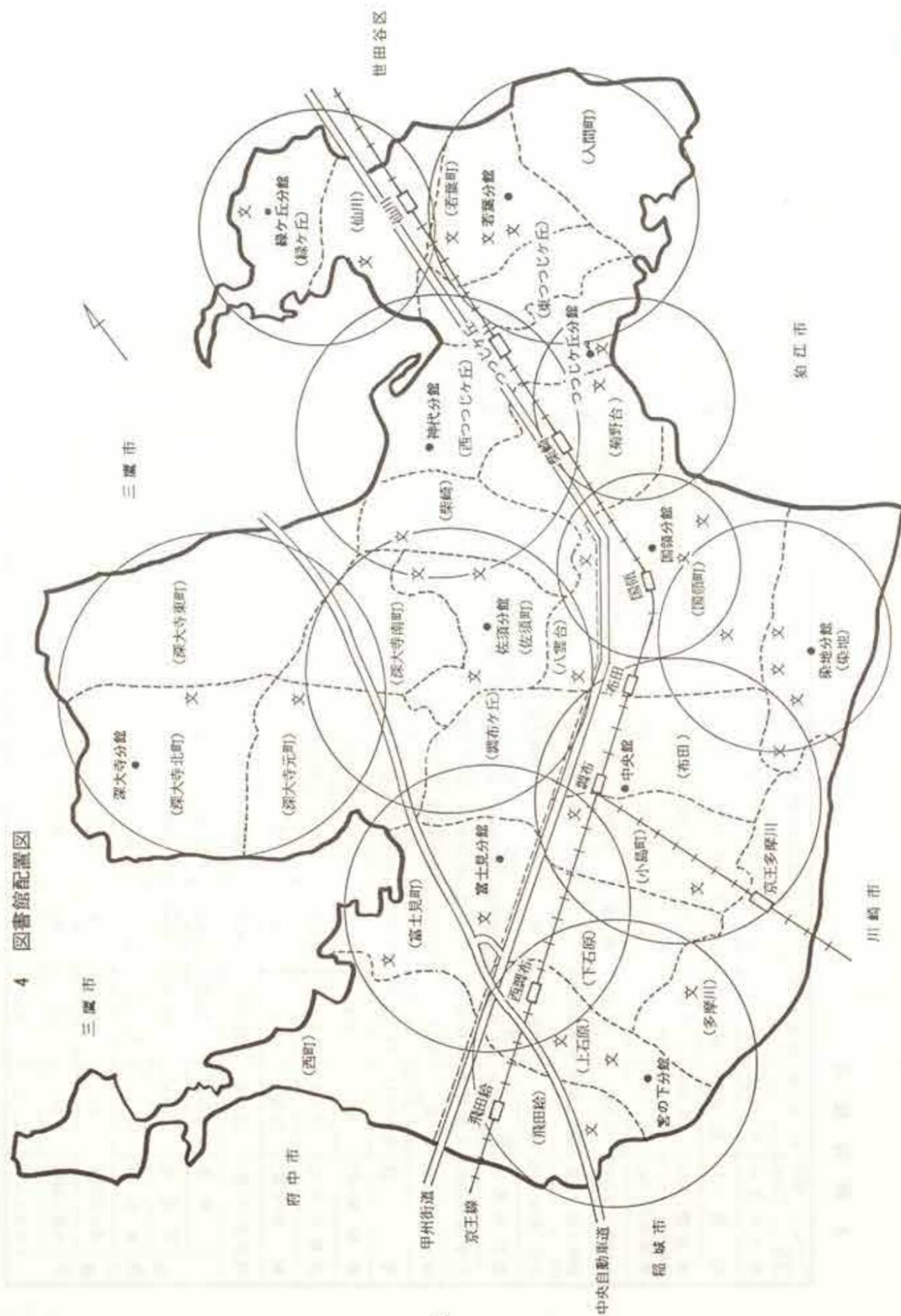
3 施設概況

平成4年3月31日現在

区分	館別	中央館	国領分館	つづじヶ丘分館	深大寺分館	神代分館	宮の下分館	緑ヶ丘分館	富士見分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	資料保存庫
竣工年月日		41. 3. 31	44. 3. 31	45. 3. 28	46. 2. 28	46. 3. 31	47. 3. 31	49. 3. 31	49. 3. 31	50. 3. 31	55. 5. 19	57. 3. 31	60. 3. 15
開館日		41. 6. 10	44. 8. 14	45. 7. 20	46. 7. 24	46. 10. 1	47. 7. 24	49. 7. 20	49. 7. 20	見庫等50.4.12 成人室50.7.5	55. 6. 6	57. 7. 13	60. 4. 1
建設費(千円)		17,348	9,120	3,774	13,800	17,080	18,000	30,190	30,798	77,654	東京都負担	143,651	45,000
敷地面積(m ²)		585	1,544	270	824	1,986	1,780	800	1,524	879	1,644	2,166	1,072
土地購入費(千円)		市有地	53,100	借地	27,497	84,000	80,000	借地	162,000	市有地	借地	92,867	借地
建築物の構造		鉄筋2階建	鉄筋の階上	コンクリートブロック	鉄骨平家	鉄筋の階上	鉄筋の階上	鉄骨平家	鉄筋の階上	鉄筋コンクリート1-2階建	鉄筋コンクリート3階建1階部分	鉄筋の階上	鉄骨平家
設計事務所		和設計事務所	保育園併設	和設計事務所	桜井設計事務所	保育園併設	保育園併設	つかさ設計事務所	保育園併設	和設計事務所	和設計事務所	和設計事務所	和設計事務所
工事請負会社		石原建設	高尾建設	内村建設	増岡建設	増岡建設	白石建設	田辺工務店	山口組	大栄建設	藤田建設	東海建設	久保工務店
所在地		布田	国領町	西つづじヶ丘	深大寺北町	西つづじヶ丘	上石原	緑ヶ丘	富士見町	若葉町	染地	佐須町	上石原
電 話		81-7661	84-2000	85-2000	85-3350	85-0054	86-5798	3300-7672	81-7664	3309-3411	88-8393	85-1306	87-2660
床面積(m ²)		626	324	114	257	364	342	396	334	516	369,298 71(共)	605	485
改修年月日		63. 3. 1	2. 11. 30	63. 3. 1	63. 8. 1	63. 12. 28	63. 8. 1	2. 7. 31	2. 3. 22	1. 7. 31	63. 3. 1	63. 3. 1	
職員(司書)		15(8)	(3)	(2)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(5)	(3)	(3)	(2)
蔵書能力(冊)		55,000	37,000	18,000	32,000	33,000	31,000	33,000	33,000	44,000	40,000	開架36,000 閉架50,000	200,000
施設概況		一般室	175 m ²	26 m ²	90 m ²	140 m ²	130 m ²	120 m ²	136 m ²	173 m ²	153 m ²	245 m ²	電動式書架 室 260 m ²
		児童室	91 m ²	52 m ²	63 m ²	68 m ²	56 m ²	64 m ²	56 m ²	123 m ²	105 m ²	80 m ²	固定式書架 室 200 m ²
		集会室	なし	なし	28 m ²	34 m ²	45 m ²	なし	63 m ²	51 m ²	なし	なし	
		成人用座席	40	3	12	24	12	20	12	36	12	24	
		児童用座席	14	18	16	21	20	17	24	24	12	12	
		おはなし室	なし	なし	なし	25 m ²	18 m ²	20 m ²	なし	32 m ²	なし	25 m ²	

(専) 専用部分 (共) 共用部分

4 図書館配置図



III 各館の概要

1 中央館

調布市布田4-17-5

電話 0424-81-7661

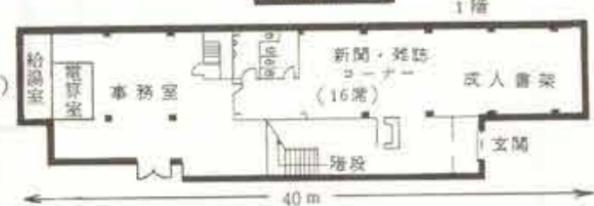
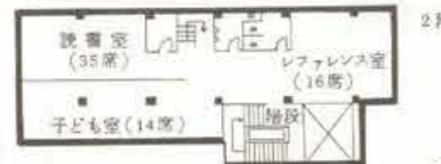
FAX 0424-81-7665

昭和41年6月10日開館

(京王線調布駅より徒歩2分)

蔵書数 218,690冊

(平成4年3月31日現在 以下同じ)



2 国領分館

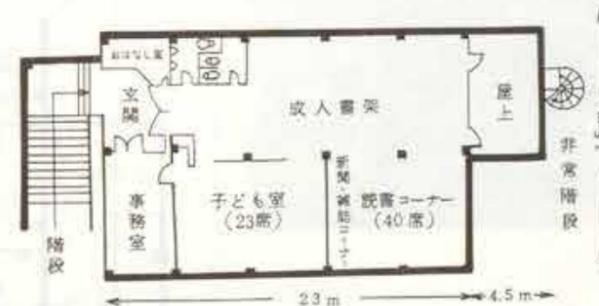
調布市国領町3-12-1

電話・FAX 0424-84-2000

昭和44年8月14日開館(保育園併設)

(京王線国領駅より徒歩3分)

蔵書数 36,008冊



3 つつじヶ丘分館

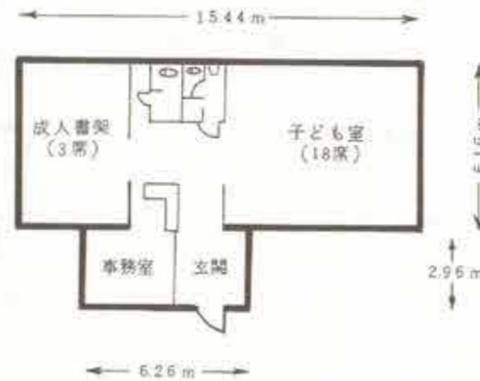
調布市西つつじヶ丘4-23-6

電話・FAX 0424-85-2000

昭和45年7月20日開館

(京王線つつじヶ丘駅より徒歩10分)

蔵書数 18,374冊



4 深大寺分館

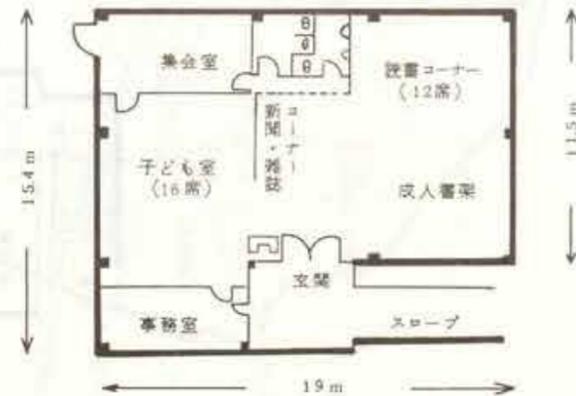
調布市深大寺北町5-6-1

電話・FAX 0424-85-3350

昭和46年7月24日開館

(吉祥寺・三鷹行バス山野より徒歩8分)

蔵書数 32,851冊



5 神代分館

調布市西つつじヶ丘1-40-5

電話・FAX 0424-85-0054

昭和46年10月1日開館(保育園併設)

(京王線つつじヶ丘駅より徒歩8分)

蔵書数 32,788冊



6 宮の下分館

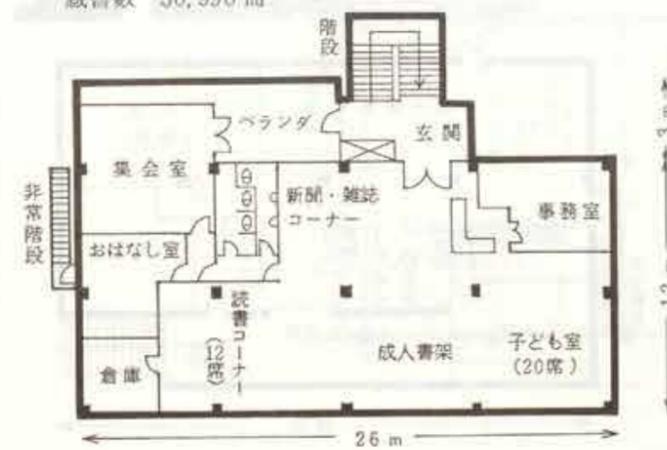
調布市上石原3-34-10

電話・FAX 0424-86-5798

昭和47年7月24日開館(保育園併設)

(京王線西調布駅より徒歩15分)

蔵書数 30,996冊



7 緑ヶ丘分館

調布市緑ヶ丘2-25

電話・FAX 03-3300-7672

昭和49年7月20日開館

(京王線仙川駅より徒歩12分)



蔵書数 33,253冊



8 富士見分館

調布市富士見町2-3-26

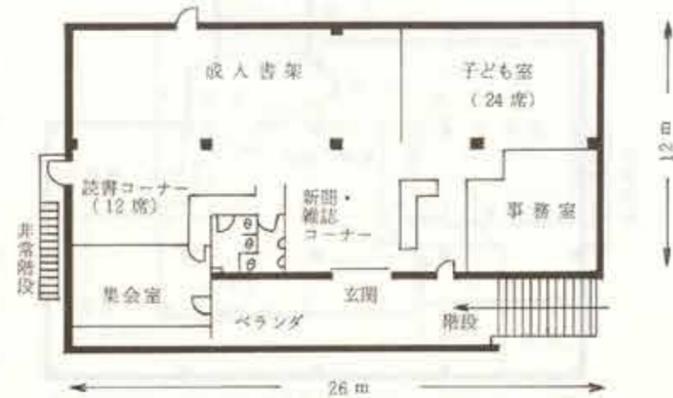
電話・FAX 0424-81-7664

昭和49年7月20日開館 (保育園併設)

(京王線調布駅より徒歩15分)



蔵書数 34,990冊



9 若葉分館

調布市若葉町3-16-13

電話・FAX 03-3309-3411

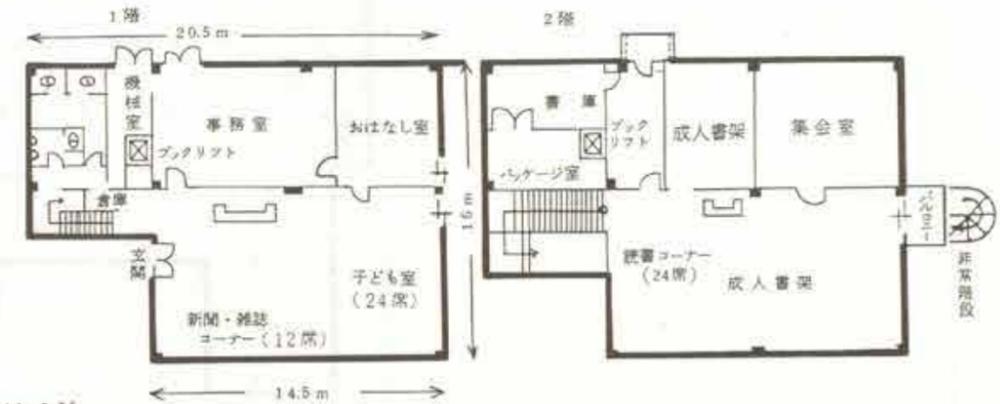
昭和50年4月12日 (児童室)

7月5日 (成人室) 開館

(京王線仙川駅より徒歩12分)



蔵書数 43,296冊



10 染地分館

調布市染地3-3-1

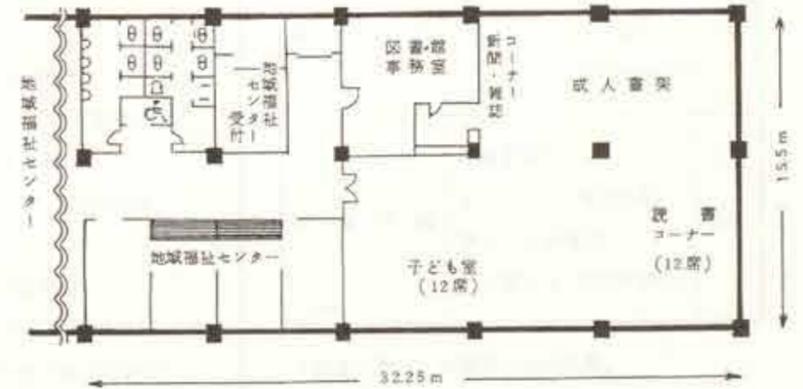
電話・FAX 0424-88-8393

昭和55年6月6日開館 (地域福祉センター併設)

(多摩川住宅西行バス染地公園前より徒歩3分)



蔵書数 39,581冊



11 佐須分館

調布市佐須町4-42-2

電話・FAX 0424-85-1306

昭和57年7月13日開館(児童館併設)

(京王線布田駅より徒歩15分)

蔵書数 34,756冊



IV 各館の事業

1 子ども対象の事業

(1) おはなし会

幼児から小学生を対象に、ストーリーテリング、絵本の読み聞かせ、紙芝居、スライド、16ミリフィルム等を組み合わせたプログラムを用意し、楽しいお話の世界へ導くことを目的として実施した。定例日の他に、夏休み、クリスマス等に特別おはなし会を実施した館もある。

実施館	日 時	参加人数
中央館	第2・4水曜日 3:00~3:30 (幼児・小学生)	348人
国領分館	毎週水曜日 3:00~3:20 (幼児・小学生)	572人
つつじヶ丘分館	第2日曜日 10:00~10:20(幼児) 10:30~11:00(小学生)	192人
深大寺分館	毎週木曜日 3:00~3:20(幼児) 第1・3木曜日 3:30~4:00(小学生)	382人
神代分館	第1・3水曜日 3:00~3:30(幼児) 第2・4水曜日 3:00~3:30(小学生)	374人
宮の下分館	第1~3水曜日 3:00~3:30(幼児) 3:30~4:00(小学生)	951人

実施館	日 時	参加人数
緑ヶ丘分館	毎週水曜日 3:00~3:30 (幼児・小学生)	179人
富士見分館	毎週水曜日 2:00~2:20(幼児) 第1・3水曜日 3:00~3:30(小学生)	730人
若葉分館	毎週火曜日 3:00~3:30(小学生) 毎週木曜日 3:00~3:30(幼児)	1,362人
染地分館	第2・4木曜日 3:00~3:30(幼児) 3:30~4:00(小学生)	542人
佐須分館	毎週水曜日 2:30~2:50(幼児) 第1・3水曜日 3:30~3:50(小学生)	526人

○参加人数は、年間延べ参加人数。

(2) 小学生読書会

小学校3年生から6年生までを対象に、幅広く本の世界の楽しさを知ってもらうために実施した。日常の生活に結びついたテーマを中心にプログラムを組み、ストーリーテリング、本の読み聞かせと合わせて、文学作品、ノンフィクションなどの本を紹介した。また、創作活動もとり入れ、創造力を啓発した。

実施館	日	時
中央館	第1日曜日	10:00~11:30

(3) 市立小学校との協力事業

市内公立全小学校を対象に、読書の動機づけを行った。対象は原則として、社会科で図書館について学び、行動範囲も広がる3年生とし、図書館利用のガイダンスや本の紹介をした。学校の要望に応じて、他の学年にも実施した。その他、夏休み向けに、先生方と協力して推せん図書リストを作成し、それ以外の図書館作成リストも随時配布した。また、先生方から読書相談を受けたり、依頼により父母に向けて本の紹介や読み聞かせについての会をもつなど学校との連携をはかった。希望に応じて団体貸出も行った。

プログラム例

内	容
㊦	<p>プログラム ガイダンス(3年生)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「としょかんのつかいかた」(利用案内の説明) 2. 本の紹介 「ワニのライルがやってきた」「ぼくと兄ちゃんの大旅行」他 3. ストーリーテリング 「かしていモリー」 4. 館内見学
㊧	<p>プログラム テーマ:食物・料理の本(1年生)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 読み聞かせ 「おまたせクッキー」 2. 本の紹介 「おいしい料理のほん」「ゼラルダと人喰い鬼」他 3. ストーリーテリング 「だんごどっこいしょ」
㊨	<p>プログラム テーマ:風・星・空 そして……地球(5年生)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 利用案内 2. 読み聞かせ 「100万回生きたねこ」 3. 本の紹介 「風力鉄道にのって」「星モグラサンジの伝説」「子どもたちが地球を救う50の方法」他 4. 読み聞かせ 「フォックス氏」

平成3年度学校協力事業実施回数及び団体貸出冊数(表IV-1)

学校名	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	その他	計	団体貸出冊数
小学校	第 一	1	1	1	1	1	1	1	7	1,554
	第 二		1	1					2	123
	第 三			1					1	
	八 雲 台			1					1	338
	富 士 見 台			1					1	540
	滝 坂			1					1	
	深 大 寺			1					1	237
	上 ノ 原			1		1			2	188
	石 原			1					1	931
	若 葉	2		1	1				4	9,820
	野 川			1					1	55
	緑 ケ 丘			1			1		2	867
	染 地			1					1	220
	北 ノ 台			1					1	
	多 摩 川			1					1	273
	杉 森			1					1	300
	大 町			1					1	
	飛 田 給			1					1	
	柏 野			1					1	
	国 領			1					1	180
布 田			1					1	720	
小 計		3	2	21	2	2	1	1	32	16,346
中学校	調 布									133
	第 八									41
小 計				0					0	174
合 計									32	16,520

(4) その他

事業名	日時・会場	内 容
中学生通信の発行	毎月1回、第1日曜日 午前9時半~11時半 市民センター (編集会場)	中学生との交流と図書館利用の促進を目的に、中学生による中学生のための通信「ぶちねこ便」を発行した。各図書館のカウンターを通じて配布したところ、読者からの反響は大きかった。
二葉学園読書会	年3回(4月・7月・11月) 午後6時半~7時半 二葉学園	読み聞かせの本の紹介などを中心に、本の世界の楽しさを知ってもらい、読書への導入をはかった。また、本を媒介にしての創作も行った。
児童館・学童保育所 保育園・幼稚園 文庫等への働きかけ	随時 図書館または 左記施設	市の施設等に対して、図書の団体貸出を行った。また、施設を利用している子どもたちを対象に読み聞かせなどを行い、相互の連携をはかった。

2 成人対象の事業

事業名	日時・会場	内容
子どもの本を読む会	毎月1回、火曜日 午前10時～12時 公民館ほか	昔話、新刊書、基本的な図書などをとりあげて読書会を催した。大冊の作品にも手をのばし、相互の読後感を話し合い、子どもと本に対する理解を深めた。



中学生通信「ぶちねこ便」編集会議風景



小学生読書会風景

V 蔵書の状況

中央館では、各分館のセンターとしての役割を果たすために、すべての分野にわたって網羅的に収集することを原則として蔵書の構築をはかっている。

一方、各分館においては、改修工事に伴い書架を増設し、所蔵能力を高めている。蔵書は、文学を中心に社会科学・歴史・地理・家庭など比較的使用頻度の高い分野に重点を置いて整備を進めた。

新中央図書館用の図書購入については、成人用は全分野を6グループに分け、各グループで長期的に継続して購入することになった。児童用は出版社別にまとめて購入され、成人用と合わせて17,318冊が新たに加わり、86,423冊になった。

今年度から、毎日出版される書籍を、毎週火曜日から土曜日まで書籍取次会社より送付してもらい、見計らい選書システムを導入した。これによって、課題であった全館的視野に立っての選書体制づくりを進めることができた。

図書の保存に関しても、全館からの保存希望図書を対象に作業が続けられており、資料的価値のある本の保持に努めている。

現在の中央館は、所蔵能力を超えており、新しい資料でも、佐須分館内の閉架書庫と中央自動車道高架下にある資料保存庫の2か所に分けて、配架せざるを得ない状況である。このように、利用者の求める資料を所蔵しているにもかかわらず、直ちに提供できない状況にあり、十分な書架スペースと保存機能を備えた新しい中央図書館の建設が大いに待たれる。

年度別蔵書冊数の推移(表V-1)

年度	分野	成人図書	児童図書	計
S41		7,946	1,308	9,254
42		12,272	2,588	14,860
43		16,390	4,392	20,782
44		22,142	7,570	29,712
45		28,068	10,834	38,902
46		34,997	18,810	53,807
47		49,510	26,365	75,875
48		73,570	34,157	107,727
49		99,001	53,375	152,376
50		121,382	61,570	182,952
51		136,416	67,312	203,728
52		147,581	68,412	215,993
53		159,407	71,587	230,994
54		171,602	74,840	246,442
55		192,087	80,480	272,567
56		215,795	86,839	302,634
57		230,830	92,337	323,167
58		246,592	94,786	341,378
59		244,022	96,960	340,982
60		248,763	96,666	345,429
61		259,143	100,279	359,422
62		274,890	105,052	379,942
63		287,964	106,665	394,629
H1		296,702	110,034	406,736
2		315,396	116,808	432,202
3		399,819	155,774	555,593

館別・分類別蔵書冊数(表V-2)

平成4年3月31日現在

分類	館名	館別										合 計	
		中央館	国領分館	つつじヶ丘分館	深大寺分館	神代分館	宮の下分館	緑ヶ丘分館	富士見分館	若葉分館	染地分館		佐須分館
郷土資料		4,095										8	4,103
0 総 記		9,083	648	252	659	750	541	560	686	985	987	2,156	18,204
1 哲学・宗数		4,780	835	115	572	824	503	509	641	968	747	3,789	15,014
2 歴史・地理		11,202	2,903	756	2,429	2,819	2,289	2,421	2,639	3,725	3,007	4,827	42,045
3 社会科学		16,693	3,039	664	2,460	3,084	2,182	2,412	2,682	3,369	3,386	10,454	53,574
4 自然科学		5,072	1,758	528	1,463	1,622	1,452	1,503	1,396	1,984	1,768	4,409	25,125
5 工業・家庭		4,511	2,207	1,478	2,019	2,100	2,061	2,019	1,906	1,989	2,012	3,490	27,839
6 産業・交通		2,070	534	97	540	655	426	441	472	526	534	1,719	8,566
7 芸術		9,149	2,317	471	2,283	2,336	1,897	2,098	2,540	3,037	2,536	9,914	41,177
8 語 学		1,915	577	156	597	430	515	508	544	620	627	2,390	9,493
9 文 学		32,622	12,177	5,182	11,448	9,604	10,192	11,122	11,665	12,846	12,989	14,685	154,679
小 計		101,192	26,995	9,699	24,470	24,224	22,058	23,593	25,171	30,049	28,593	57,841	399,819
児童図書		31,075	9,013	8,675	8,391	8,564	8,938	9,660	9,819	13,247	10,988	28,582	155,774
合 計		132,267	36,008	18,374	32,861	32,788	30,996	33,253	34,990	43,296	39,581	86,423	555,593

館別購入・寄贈受入・除籍冊数(表V-3)

資料区分	館名 年度	中 央 館			国 領 分 館			つつじヶ丘分館		
		元年度	2年度	3年度	元年度	2年度	3年度	元年度	2年度	3年度
購 入	郷土資料	303	92	75	—	—	—	—	—	—
	成 人	6,255	8,480	8,976	2,031	2,741	3,729	1,212	2,516	1,534
	児 童	2,918	4,065	3,462	1,094	1,396	1,600	1,224	2,266	1,178
	合 計	9,476	12,637	12,513	3,125	4,137	5,329	2,436	4,782	2,712
寄 贈	郷土資料	112	114	344	—	—	—	—	—	—
	成 人	959	1,148	430	238	89	221	133	191	174
	児 童	653	709	385	8	1	7	18	10	0
	合 計	1,724	1,971	1,159	246	90	228	151	201	174
除 籍	郷土資料	1	0	135	—	—	—	—	—	—
	成 人	1,496	1,976	5,758	1,134	1,406	1,431	790	163	797
	児 童	435	4,245	2,254	821	1,001	986	2,115	865	697
	合 計	1,932	6,221	8,147	1,955	2,407	2,417	2,905	1,028	1,494

資料区分	館名 年度	深大寺分館			神代分館			宮の下分館		
		元年度	2年度	3年度	元年度	2年度	3年度	元年度	2年度	3年度
購 入	郷土資料	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	成 人	2,274	2,682	3,335	2,282	2,200	2,995	2,343	2,553	2,582
	児 童	1,000	1,194	1,329	1,211	1,225	1,524	1,103	1,343	1,507
	合 計	3,274	3,876	4,664	3,493	3,425	4,519	3,446	3,896	4,089
寄 贈	郷土資料	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	成 人	93	493	184	285	87	335	88	157	209
	児 童	0	0	25	9	7	40	14	0	0
	合 計	93	493	209	294	94	375	102	157	209
除 籍	郷土資料	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	成 人	2,698	2,719	1,241	3,497	1,866	1,671	2,317	3,279	277
	児 童	1,855	665	630	1,416	811	1,252	1,507	569	726
	合 計	4,553	3,384	1,871	4,913	2,677	2,923	3,824	3,848	1,003

○中央館は、このほかに新中央図書館用図書として、61年度2,849冊、62年度7,934冊、63年度14,848冊、元年度17,960冊、2年度25,514冊、3年度17,318冊を購入。

年度別・館別登録者数(表VI-2)

年度		S41	56	57	58	59	60
成人	中央館	2,161	7,868	7,666	7,360	7,325	7,207
	国領分館		2,017	2,129	2,037	2,026	2,111
	つつじヶ丘分館		1,009	971	1,027	1,004	1,032
	深大寺分館		1,375	1,483	1,475	1,460	1,330
	神代分館		1,927	1,901	1,919	1,957	2,055
	宮の下分館		1,264	1,242	1,256	1,381	1,442
	緑ヶ丘分館		1,023	954	941	1,071	1,168
	富士見分館		1,197	1,304	1,324	1,421	1,466
	若葉分館		2,003	1,948	1,935	2,167	2,228
	染地分館		2,181	2,279	2,370	2,440	2,596
佐須分館			1,355	1,560	1,879	1,925	
計		2,161	21,864	23,232	23,204	24,131	24,560
指数		100	1,011	1,075	1,074	1,117	1,137
児童	中央館	921	3,534	3,210	2,901	2,687	2,448
	国領分館		2,113	1,989	1,969	1,740	1,611
	つつじヶ丘分館		1,235	1,234	1,296	1,192	1,063
	深大寺分館		1,320	1,349	1,203	1,190	1,031
	神代分館		1,576	1,516	1,481	1,366	1,250
	宮の下分館		1,507	1,532	1,389	1,350	1,277
	緑ヶ丘分館		1,188	1,073	1,000	950	1,015
	富士見分館		1,414	1,521	1,481	1,449	1,374
	若葉分館		1,692	1,688	1,750	1,761	1,606
	染地分館		2,330	2,388	2,331	2,243	2,084
佐須分館			1,622	1,813	1,732	1,580	
計		921	17,909	19,122	18,614	17,660	16,339
指数		100	1,944	2,076	2,021	1,917	1,774
合計	中央館	3,082	11,402	10,876	10,261	10,012	9,655
	国領分館		4,130	4,118	4,006	3,766	3,722
	つつじヶ丘分館		2,244	2,205	2,323	2,196	2,095
	深大寺分館		2,695	2,832	2,678	2,650	2,361
	神代分館		3,503	3,417	3,400	3,323	3,305
	宮の下分館		2,771	2,774	2,645	2,731	2,719
	緑ヶ丘分館		2,211	2,027	1,941	2,021	2,183
	富士見分館		2,611	2,825	2,805	2,870	2,840
	若葉分館		3,695	3,636	3,685	3,928	3,834
	染地分館		4,511	4,667	4,701	4,683	4,680
佐須分館			2,977	3,373	3,611	3,505	
計		3,082	39,773	42,354	41,818	41,791	40,899
指数		100	1,290	1,374	1,357	1,356	1,327
登録率		2.5	22.2	23.4	23.0	22.7	21.8

61	62	63	H I	2	3
7,267	7,182	10,751	13,635	7,906	6,717
2,178	2,035	2,809	3,453	2,147	3,088
994	940	1,228	1,445	1,018	1,269
1,319	1,210	1,519	1,777	1,190	1,585
2,213	2,112	2,725	3,342	2,110	2,856
1,496	1,647	2,105	2,476	1,465	2,008
1,167	1,166	1,438	1,646	1,031	1,427
1,424	1,414	1,776	2,094	1,232	1,823
2,229	2,279	2,953	3,444	2,216	2,969
2,750	2,632	3,240	3,636	2,317	1,975
1,843	1,738	2,304	2,698	1,639	1,485
24,880	24,355	32,848	39,646	24,271	27,202
1.151	1.127			1.123	1.259
2,487	2,380	3,372	4,080	2,201	1,747
1,546	1,332	1,701	1,974	1,067	1,464
1,153	1,054	1,261	1,443	896	1,055
830	748	963	1,102	622	864
1,240	1,123	1,423	1,726	965	1,329
1,268	1,242	1,554	1,830	956	1,304
944	809	902	993	521	706
1,290	1,110	1,394	1,645	864	1,289
1,543	1,457	1,788	2,048	1,230	1,565
1,922	1,844	2,179	2,434	1,264	922
1,381	1,236	1,659	1,936	984	704
15,604	14,335	18,196	21,211	11,570	12,949
1.694	1.556			1.256	1.406
9,754	9,562	14,123	17,715	10,107	8,464
3,724	3,367	4,510	5,427	3,214	4,552
2,147	1,994	2,489	2,888	1,914	2,324
2,149	1,958	2,482	2,879	1,812	2,449
3,453	3,235	4,148	5,068	3,075	4,185
2,764	2,889	3,659	4,306	2,421	3,312
2,111	1,975	2,340	2,639	1,552	2,133
2,714	2,524	3,170	3,739	2,096	3,112
3,772	3,736	4,741	5,492	3,446	4,534
4,672	4,476	5,419	6,070	3,581	2,897
3,224	2,974	3,963	4,634	2,623	2,189
40,484	38,690	51,044	60,857	35,841	40,151
1.314	1.255			1.163	1.303
21.3	19.6			18.7	20.8

○62年度より、貸出券の有効期間が3年間となった。

○3年度10月より、中央館・染地・佐須分館は電算による登録に変わった。

2 市内小中学生の登録状況（平成2年度調査結果）

昭和43年度以来、3年に1度の割合で実施しているこの調査は、今回で8回目になる。調査は、個人貸出申込書の登録データをもとに行った。

小中学生の登録状況を見ると、市内に点在する各図書館と学校との距離が近いほど登録率が高く、よく利用されていることがわかる。これは、地理的に近い館ほど、個人での読書のほかにも、宿題や修学旅行・文化祭準備などを目的としたグループでの利用が多くなるためである。

また、小学生は平均して70%弱、特に3年生は80%を超える高い登録率を示している。各図書館がサービスエリア内の小学校と協力して、3年生を対象とした図書館利用のガイダンスをはじめ、ブックトーク・読み聞かせ・ストーリーテリング等によって読書の動機づけを行っている成果が、この数字となってあらわれているといえよう。

しかし、今回の調査結果を前回と比較すると、登録者数・登録率とも全般に減少の傾向にあり、特に高学年の登録率の減少が著しいことがわかる。これには、児童数の低下とともに、最近の子どもたちが塾や習い事などで忙しく、ゆとりがなくなってきたことが影響していると思われる。子どもたちの生活をとりまく状況を考慮しつつ、継続的に一層工夫した働きかけをしていく必要がある。

平成2年度 館別未就学児登録者数（表Ⅴ-3）

年齢	中央館	国領分館	つつじヶ丘分館	深大寺分館	神代分館	宮の下分館	緑ヶ丘分館
0歳	15	10	8	3	10	10	9
1歳	38	21	21	15	27	19	15
2歳	86	36	36	16	45	57	20
3歳	157	75	50	27	63	73	22
4歳	167	71	64	44	59	80	34
5歳	159	75	81	38	85	76	50
6歳	56	25	18	12	22	21	39
計	678	313	278	155	311	336	189

年齢	富士見分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	計	年齢別人口	登録率
0歳	3	8	7	16	99	1,755	5.6
1歳	13	34	28	14	245	1,944	12.6
2歳	30	50	41	38	455	1,942	23.4
3歳	59	77	72	62	737	1,891	39.0
4歳	66	75	82	63	805	1,842	43.7
5歳	61	89	100	65	879	1,951	45.1
6歳	12	32	21	23	281	1,968	(14.3)
計	244	365	351	281	3,501	13,293	(26.3)

○6歳児人口は、小学校1年生も含むため、登録率は参考データ。

平成2年度 学校別・学年別登録者数（小学校）（表Ⅵ-4）

学年	学校名	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計		登録率
		児童数	登録者数	児童数	登録者数	児童数	登録者数									
第一	122	71	74	117	81	114	60	141	96	116	67	709	449	63.3		
第二	58	46	47	47	35	51	34	51	36	57	31	323	229	70.9		
第三	87	42	48	92	65	98	59	92	59	99	45	539	318	59.0		
八雲台	113	63	69	112	88	99	71	127	83	118	92	678	466	68.7		
富士見台	98	70	61	88	66	96	65	108	80	115	67	599	409	68.3		
鹿坂	101	59	52	85	70	101	69	112	69	97	45	596	364	61.1		
深大寺	69	23	32	62	39	51	16	69	40	58	26	377	176	46.7		
上ノ原	138	94	70	114	89	130	70	148	122	129	87	776	522	68.6		
石原	127	103	92	115	95	103	72	116	81	95	78	682	521	75.3		
若葉	101	106	98	113	111	102	98	108	84	114	88	629	585	93.0		
野川	65	52	79	82	83	73	75	76	75	78	75	461	439	95.2		
緑ヶ丘	74	58	59	72	55	59	47	76	61	62	29	416	306	74.3		
染地	53	41	31	62	55	64	56	64	43	66	36	358	262	73.2		
北ノ台	99	52	62	114	95	99	45	111	68	108	50	629	372	59.1		
多摩川	94	59	51	84	80	79	51	82	54	82	23	510	318	62.4		
杉森	131	109	83	114	109	120	102	138	114	130	103	739	620	83.9		
大町	66	53	35	44	41	71	64	58	38	72	19	361	250	69.3		
飛田給	63	22	11	70	42	55	19	59	27	52	21	361	142	39.3		
柏野	57	38	50	63	48	85	60	66	43	88	53	421	292	69.4		
国領	74	59	51	89	76	66	91	109	81	113	81	526	412	78.3		
布田	52	30	38	72	40	64	46	86	54	76	39	409	247	60.4		
小計	1,842	1,250	1,193	1,811	1,463	1,780	1,270	1,997	1,408	1,925	1,155	11,109	7,712	69.4		
登録率	67.9	68.0	80.8	71.3	71.3	71.3	71.3	71.3	71.3	71.3	70.5	69.4	69.4			
市内私立	25	20	30	20	30	20	20	26	26	26	29	150	150			
市外	36	33	47	36	47	36	36	30	30	30	26	207	207			
合計	1,311	1,246	1,540	1,325	1,540	1,325	1,325	1,464	1,464	1,464	1,210	8,060	8,060			

○登録者数が児童数を上回るのは、複数館で登録できるため。

平成2年度 学校別・館別登録者数(小学校) (表M-5)

学校名	中央館		国領分館		つつじヶ丘分館		深大寺分館		神代分館	
	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率
第一	263	37.1	2	0.3			1	0.1		
第二	74	22.9	148	45.8						
第三	53	9.8								
八雲台	174	25.7	56	8.3						
富士見台	384	64.1	2	0.3						
滝坂	5	0.8			11	1.8			131	22.0
深大寺	18	4.8					85	22.5	18	4.8
上ノ原	9	1.2	30	3.9	3	0.4	5	0.6	420	54.1
石原	79	11.4							1	0.1
若葉	3	0.5	1	0.2	4	0.6				
野川	2	0.4			423	91.8			3	0.7
緑ヶ丘	1	0.2								
染地	13	3.6	17	4.7					1	0.3
北ノ台	4	0.6					366	58.2		
多摩川	81	15.9								
杉森	40	5.4	14	1.9	3	0.4				
大町	4	1.1	70	19.4	156	43.2			16	4.4
飛田給	44	12.2								
柏野	10	2.4	3	0.7			1	0.2	2	0.5
国領	19	3.6	387	73.6	5	1.0			1	0.2
布田	165	40.3								
小計	1,445		730		605		458		593	
市内私立	33		11		1		3		30	
市外	45		13		12		6		31	
合計	1,523		754		618		467		654	

宮の下分館		緑ヶ丘分館		富士見分館		若葉分館		染地分館		佐須分館	
登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率
1	0.1	1	0.1	154	21.7					27	3.8
				1	0.3			3	0.9	3	0.9
254	47.1			11	2.0						
										236	34.8
13	2.2			7	1.2					3	0.5
		6	1.0			211	35.4				
				3	0.8					52	13.8
		1	0.1			1	0.1			63	8.1
2	0.3	1	0.1	429	62.0					9	1.3
2	0.3					575	91.4				
						11	2.4				
		305	73.3			3	0.7				
								231	64.5		
						1	0.2			1	0.2
237	46.5										
1	0.1							560	75.8	2	0.3
						1	0.3			3	0.8
98	27.1										
										276	65.6
								82	20.0		
608		314		605		803		876		675	
4		3		4		27		15		19	
8		15		11		35		22		9	
620		332		620		865		913		703	

平成3年度 学校別・学年別登録者数(中学校) (表Ⅵ-6)

学校名	1 年		2 年		3 年		計		登録率
	生徒数	登録者数	生徒数	登録者数	生徒数	登録者数	生徒数	登録者数	
調布	267	151	286	121	299	54	852	326	38.3
神代	321	174	333	154	318	79	972	401	41.3
第三	283	181	338	140	344	115	965	436	45.2
第四	253	222	243	154	229	111	725	487	67.2
第五	254	111	244	70	333	49	831	230	27.7
第六	156	115	181	142	191	71	528	328	62.1
第七	137	51	136	47	167	36	440	134	30.5
第八	82	49	83	43	92	29	257	121	47.1
小計	1,753	1,054	1,844	871	1,973	538	5,570	2,463	44.2
登録率	60.1		47.2		27.3		44.2		
市内私立		41		31		34		106	
調布養護				1		1		2	
市外		141		100		105		346	
合計		1,236		1,003		678		2,917	

平成3年度 学校別・館別登録者数(中学校) (表Ⅵ-7)

学校名	中央館		国領分館		つつじヶ丘分館		深大寺分館		神代分館	
	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率
調布	85	10.0	2	0.2	1	0.1	10	1.2		
神代	21	2.2	3	0.3			143	14.7	178	18.3
第三	81	8.4	50	5.2	2	0.2			2	0.2
第四	9	1.2	5	0.7	103	14.2	1	0.1	17	2.3
第五	51	6.1							1	0.1
第六	33	6.3	219	41.5	50	9.5	2	0.4	9	1.7
第七	27	6.1	23	5.2			2	0.5	8	1.8
第八			1	0.4						
小計	307		303		156		158		215	
市内私立	34		7		1		3		17	
調布養護										
市外	114		22		4		11		48	
合計	455		332		161		172		280	



図書館利用ガイダンス風景

宮の下分館		緑ヶ丘分館		富士見分館		若葉分館		染地分館		佐須分館	
登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率
12	1.4			206	24.2			1	0.1	9	1.1
1	0.1	1	0.1	3	0.3	2	0.2			49	5.0
		2	0.2	1	0.1	2	0.2	294	30.5	2	0.2
		3	0.4			348	48.0			1	0.1
175	21.1			3	0.4						
		1	0.2	1	0.2	3	0.6	1	0.2	9	1.7
		1	0.2							73	16.6
		119	46.3			1	0.4				
188		127		214		356		296		143	
3		2		2		16		9		12	
				1				1			
17		12		22		32		34		30	
208		141		239		404		340		185	

3 貸出

平成3年度 館別個人貸出冊数 (表VI-8)

資料別	館名	中央館	国領分館	つつじヶ丘分館	深大寺分館	神代分館	宮の下分館
成人	雑誌	7,021	3,225	5,679	3,334	3,686	3,535
	図書	129,020	42,464	22,794	30,177	38,385	29,854
小計		136,041	45,689	28,473	33,511	42,071	33,389
児童図書		54,094	24,178	22,977	16,477	25,828	24,053
合計		190,135	69,867	51,450	49,988	67,899	57,442

○62年度より1人3冊貸出になった。

○3年度10月より中央館・染地分館・佐須分館は電算導入で1人5冊貸出になった。

平成3年度 館別団体貸出冊数 (表VI-9)

団体別	館名	中央館	国領分館	つつじヶ丘分館	深大寺分館	神代分館
団体数		56	5	5	6	8
貸出冊数	学校	2,851	303	55	80	188
	保育園	267	621	605	158	441
	その他	395		81	29	16
	合計	3,513	924	741	267	645

○若葉分館は、若葉小学校全クラスに読書の時間を通して定期的にクラス単位の貸出をしている。

○その他は、文庫・幼稚園・学童保育所・児童館・公民館等。

平成3年度 館別予約図書受付冊数 (表VI-10)

資料別	館名	中央館	国領分館	つつじヶ丘分館	深大寺分館	神代分館
成人図書		5,933	1,444	1,216	1,073	1,348
児童図書		728	288	323	389	213
合計		6,661	1,732	1,539	1,462	1,561

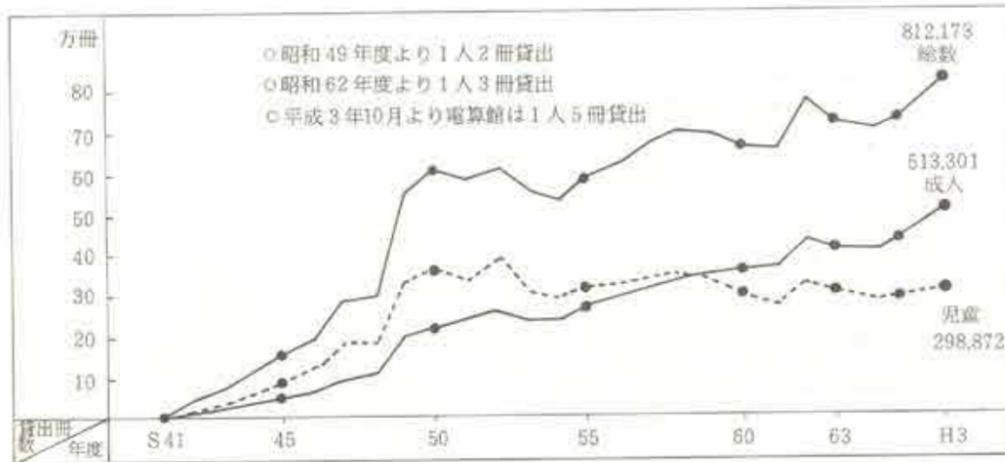
○予約図書には、リクエスト図書も含む。

緑ヶ丘分館	富士見分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	計	%
4,091	3,208	4,453	4,782	3,247	46,261	5.7
24,193	37,370	35,440	44,111	33,232	467,040	57.5
28,284	40,578	39,893	48,893	36,479	513,301	63.2
15,086	27,604	28,528	35,063	24,984	298,872	36.8
43,370	68,182	68,421	83,956	61,463	812,173	100.0

宮の下分館	緑ヶ丘分館	富士見分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	計
12	19	23	25	12	6	177
273	908	1,027	9,820	520	495	16,520
379	723	533	882			4,609
79	339		105	779	95	1,918
731	1,970	1,560	10,807	1,299	590	23,047

宮の下分館	緑ヶ丘分館	富士見分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	計
373	576	888	1,120	1,790	891	16,652
203	167	441	914	490	201	4,357
576	743	1,329	2,034	2,280	1,092	21,009

年度別個人貸出冊数の推移 (図VI-2)



図書館活動5カ年間の実績 (表VI-11)

年 度	62	63	H 1	2	3
登 録 率 (市内登録者数 / 人口 × 100)	19.6	—	—	18.1	20.8
市民1人当りの貸出冊数 (貸出冊数 / 人口)	4.23	3.88	3.63	3.75	4.21
登録者1人当りの貸出冊数 (貸出冊数 / 登録者数)	20.9	—	—	20.1	20.2
1館当りの1日の貸出冊数 (貸出冊数 / 開館日数)	282	275	248	274	288
1冊当りの利用回数 (貸出冊数 / 蔵書数)	2.1	1.8	1.5	1.44	1.46
市民1人当りの年間受入冊数 (年間受入冊数 / 人口)	0.26	0.30	0.34	0.45	0.28
登録者1人当りの年間受入冊数 (年間受入冊数 / 登録者数)	1.28	—	—	2.39	2.0
市民1人当りの蔵書冊数 (蔵書数 / 人口)	2.03	2.13	2.35	2.60	2.84
市民1人当りの図書購入費 (図書購入費 / 人口)	449	521	614	782	868

○蔵書数、年間受入冊数、図書購入費は、61年度以降新中央図書館分も含む。
○62年度より貸出券の有効期間が3年間となった。

VII ハンディキャップサービス

公共図書館は、「すべての住民の学習権の保障」「いつでも・どこでも・だれでも利用できる図書館」を目標としている。その意味で、ハンディキャップサービス(以下HCサービス)は、「図書館利用にハンディキャップのある人々へのサービス」として位置づけられ、何ら特殊なサービスではない。そして、その基本となるのは図書館利用のための条件整備をすることである。

調布市立図書館におけるHCサービスは、昭和54年4月打合せ会が発足し、その体制づくりが始まった。内容は、主に視覚障害者を対象とした、朗読サービスと点訳サービスが中心である。ここ数年、具体的に他の図書館と比較しても、点訳の枚数、対面朗読の実施回数、テープ雑誌の貸出数などは飛躍的な伸びを示している。利用者の増加に伴い業務量も増大しており、それに対応する体制も整備されなければならない。

これまでのHCサービスは視覚障害者を中心に進めてきたが、今後は、視覚障害者以外についてもサービスの範囲を広げ、「だれでも」利用できる図書館を目指していく必要がある。

1 朗読サービス

平成3年度は、朗読技術の向上を目指して「中級朗読者養成講座」を開いた。また総合福祉センターの対面朗読室・国領分館のおはなし室などで対面朗読を行った。朗読テープの貸出は、話題の小説などを常に早く提供するよう努力していることもあって大幅に伸びた。

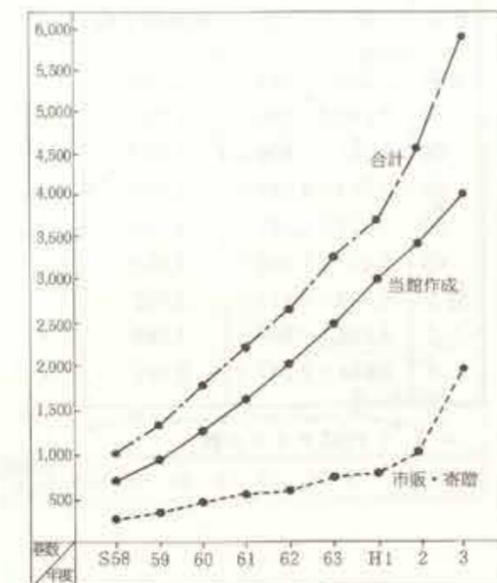
録音テープ所蔵巻数の推移

(表VII-1)

年度	当館作成	市販・寄贈	合 計
S58	735 (208)	305 (249)	1,040 (457)
59	948 (244)	390 (320)	1,338 (564)
60	1,276 (260)	484 (369)	1,760 (629)
61	1,631 (305)	581 (405)	2,212 (710)
62	2,031 (362)	604 (428)	2,635 (790)
63	2,486 (432)	747 (479)	3,233 (911)
H 1	3,012 (509)	808 (531)	3,820 (1,040)
2	3,415 (571)	1,129 (667)	4,544 (1,238)
3	3,992 (671)	1,898 (1,288)	5,890 (1,959)

○()内はタイトル数

(図VII-1)

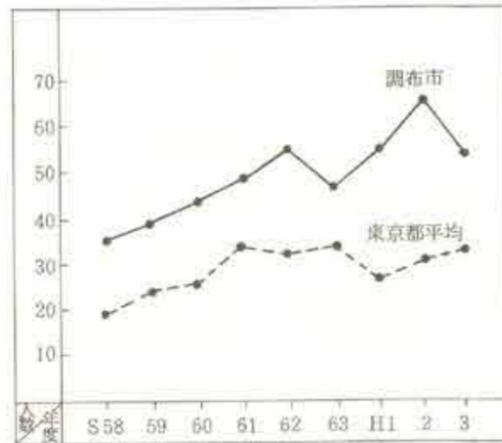


録音テープ利用者の推移

(表VII-2)

年度	調布市	東京都平均
S58	36	19
59	38	23
60	43	25
61	48	32
62	55	31
63	47	32
H1	55	26
2	65	30
3	53	33

(図VII-2)



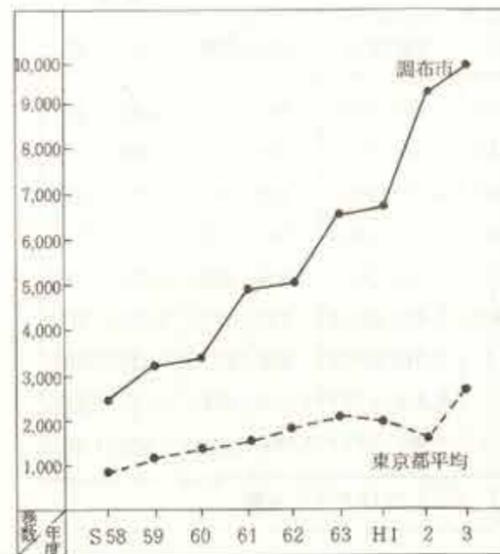
録音テープ貸出巻数の推移

(表VII-3)

年度	調布市	東京都平均
S58	2,253 (564)	745
59	3,180 (730)	1,163
60	3,391 (839)	1,353
61	4,774 (1,143)	1,564
62	5,026 (1,171)	1,765
63	6,497 (1,592)	1,969
H1	6,569 (1,871)	1,952
2	9,456 (2,405)	1,688
3	9,884 (2,247)	2,660

○ () 内はタイトル数

(図VII-3)

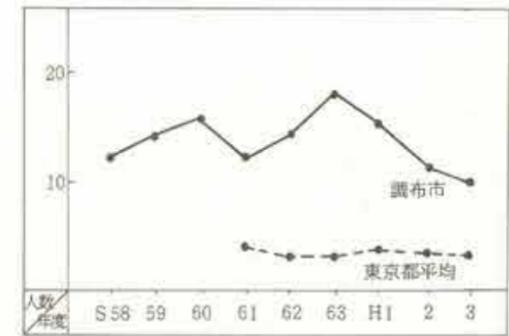


対面朗読利用者の推移

(表VII-4)

年度	調布市	東京都平均
S58	12	—
59	14	—
60	15	—
61	12	4
62	14	3
63	18	3
H1	15	4
2	11	4
3	10	4

(図VII-4)

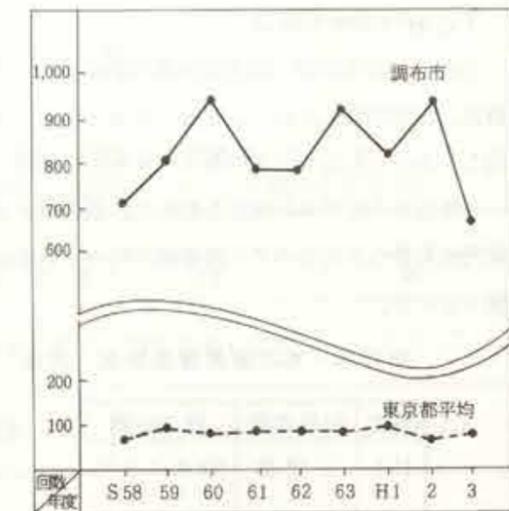


対面朗読実施回数の推移

(表VII-5)

年度	調布市	東京都平均
S58	699	61
59	791	87
60	932	70
61	781	69
62	773	71
63	916	73
H1	802	87
2	948	65
3	673	81

(図VII-5)



2 点訳サービス

昭和55年度から点訳ボランティア養成講座を実施している。点訳ボランティアは、現在、35人になった。作成された点字図書は、総合福祉センター（対面朗読室）に置いて利用に供している。また、新しいサービスとして、2年度から立体コピー（文字や図形の浮き出るコピー）サービスを始めた。点字では判りにくいグラフや図を知るのに、活用されている。

点訳サービス実施状況 (表Ⅶ-6)

年度	利用者数	リクエスト数	点訳枚数 (両面)	点訳 ボランティア	点字本の所蔵	
					自館作成	寄贈
S62	7人	22件	2,637枚	28人	30タイトル64冊	109タイトル166冊
63	8人	31件	1,935枚	20人	30タイトル64冊	110タイトル172冊
H1	6人	32件	2,890枚	20人	30タイトル64冊	112タイトル174冊
2	10人	40件	3,000枚	35人	31タイトル67冊	115タイトル182冊
3	6人	21件	3,843枚	35人	32タイトル89冊	117タイトル187冊

3 大型活字本・拡大写本サービス

平成元年度から新中央図書館用に大型活字本の収集を始めた。3年度は大型活字本を国領分館・緑ヶ丘分館で展示し貸出したところ、中・高年の市民に好評だった。今後はこの成果をふまえ、他の分館においても展示し、潜在的利用者の掘り起こしをする必要がある。

拡大写本は、弱視者からの要望に応じて、昭和62年度から市内の拡大写本作成グループ*をよかぜ*に作成を依頼している。

4 子どもへのサービス

市内のあゆみ学園（障害児の通所訓練施設）で、おはなし会6回と団体貸出（布の本・布の遊具、児童図書）を行い、定着してきている。また第一小学校ひまわり学級（3クラス）を訪問し、おはなし会や、布の本4タイトルの貸出しを行った。

2年度から布の本の収集を始めた。現在47タイトルを所蔵している。布の本・布の遊具は健常児にも楽しめるので、図書館で行っている定例おはなし会や保育園児へのおはなし会でも使っている。

布の本・布の遊具貸出状況 (表Ⅶ-7)

年度	利用者数	貸出数
H1	1団体	22タイトル
2	2団体	44タイトル
3	2団体	35タイトル

5 PR活動

利用者の拡大を目指すため、市内在住の1・2・3級の視覚障害者に、利用案内・録音テープ目録を毎年作成し送付している。また、元年度より、声のお知らせを「オカリナ通信」と改めて発送しているが、たいへん好評で、東京都公立図書館長協議会作成の「新作情報」などから多くのリクエスト、レファレンスが寄せられている。

事業名	内容	備考
オカリナ通信	○新刊の紹介 ○新しいテープのお知らせ ○新着図書案内 など	利用者(50人) テープ版 毎月
図書館だより	○図書館発行の広報(全8ページ)	利用者(50人) テープ版 年4回
利用案内 録音テープ目録 (3年度版)	○福祉事務所の協力を得て市内在住の1・2・3級の方と現利用者(188名)に発送	墨字版 テープ版 点字版(希望者)年1回

6 ボランティアの養成とボランティアグループ

事業名	期日・参加人数・会場	講師及び内容
朗読者・点訳者 登録会	4月12日 41人	情報交換等の懇談とボランティアの登録手続
第6回中級朗読 者養成講座	5月8日～12月11日 第2・第4水曜 (全15回) 20人 総合福祉センター 市民センター	講師 調布市立図書館朗読ボランティア 武藤 温子氏 「東洋医学の読み方」
ボランティア 養成講座	1月29日 32人	講師 都立中央図書館 田中 章治氏 「朗読・点訳ボランティアに期待すること」

グループ名	人数・定例日・会場	代表者	内容
調布ブライユ (点訳)	35人 第2・3木曜日 総合福祉センター	榎本 道子	打ち合せと校正
ちょうふ水曜会 (朗読)	21人 第4水曜日 総合福祉センター	海藤 ルミ	作製テープを聞きあい、講評する

VIII 集会・学習活動

1 集会・学習活動の状況

図書館は、社会教育実施機関のひとつとして、市民の生涯学習を促進するため、様々な事業を展開してきた。現在は、図書館が市民の読書啓発のために展開する独自事業と、図書館を拠点に学習活動を実践している「調布ブッククラブ」との共催・協力事業を実施している。独自事業では、話題性の高い作品などをテーマにした講演会や座談会等を開催した。共催等の事業では、市民の学習、創造の場を提供し、生涯学習の確立に努めた。

なお、1年間の学習の総まとめとして実施した「図書館まつり」は、年々充実しながら20回目を数え、市民生活に根ざした祭典を展開することができた。

2 行事

(1) 講演会

事業名	期日・参加人数・会場	講師及び内容
発会記念 公開講演会	4月10日 100人 総合福祉センター	立教大学名誉教授 赤司 道雄 「福音書(新・旧約聖書の解釈)」
発会記念 公開講演会	4月18日 100人 総合福祉センター	作家 栗田 勇 「一遍上人の人と思想」
発会記念 公開講演会	4月19日 100人 総合福祉センター	大妻女子大学教授 池内 輝雄 「明治文学の人と作品」
発会記念 公開講演会	4月23日 100人 総合福祉センター	工学院大学名誉教授 松尾 靖秋 「芭蕉・蕪村の人と作品」
発会記念 公開講演会	4月27日 100人 総合福祉センター	学芸大学教授 山田 有策 「樋口一葉の人と作品」
講演会	5月11日 100人 総合福祉センター	作家 畑山 博 「教師 宮澤賢治のしごと」
時局講演会	6月7日 250人 グリーンホール(小)	放送解説者 平山健太郎 「湾岸戦争 その後」
公開講演会	9月7日 100人 総合福祉センター	工学院大学名誉教授 松尾 靖秋 「おくのほそ道を読む」
文芸講演会	10月26日 100人 総合福祉センター	文芸評論家 桶谷 秀昭 「時代小説と純文学」
講演会	11月20日 100人 東洋信託銀行ホール	作家・テレビキャスター 利根川 裕 「臼井吉見の『安曇野』とわたし」
公開講演会	11月30日 100人 総合福祉センター	学芸大学教授 山田 有策 「樋口一葉著『たけくらべ』」

時局講演会	12月21日 250人 グリーンホール(小)	東京大学教授 和田 春樹 「ソ連八月政変後の世界と日本」
新春講演会	1月11日 100人 総合福祉センター	児童文学者 今西 祐行 「新年に思う—去年今年—」
公開講演会	3月13日 100人 総合福祉センター	大妻女子大学教授 池内 輝雄 「田山花袋著『田舎教師』」

(2) 座談会

事業名	期日・参加人数・会場	講師及び内容
開館25周年 記念座談会	6月11日 250人 グリーンホール(小)	日本近代文学館館長 小田切 進 作家 島田 雅彦 「図書館と生涯学習」

(3) 著者を囲む会

期日・参加人数・会場	著者	テキスト
9月28日 100人 総合福祉センター	直木賞受賞作家 芦原すなお	青春デンデケデケデケ
3月26日 100人 市役所大会議室	坪田譲治賞受賞作家 江國 香織	こうばしい日々

(4) 講座

事業名	期日・参加人数・会場	講師及び内容
子どもの本に親しむ会	11月21日 30人 神代分館 11月22日 30人 富士見分館	指導 図書館職員 「本の紹介」「本の読み聞かせ」

(5) 平和施策事業

事業名	期日・参加人数・会場	講師及び内容
平和を歌うコンサート (バングラデシュ水難救援)	7月13日 800人 グリーンホール	声楽家 大内壽恵磨 歌手 中山圭以子 市内小学生 「合唱」
平和祈念 親と子の映画会	7月30日 400人 中央公民館ホール	「Tomorrow 明日」 原作 井上 光晴
平和祈念 名画鑑賞会	8月8日 400人 中央公民館ホール	「黒い雨」 原作 井伏 鱒二

(6) 朗読をたのしむ会

期日・参加人数・会場	語り手	内容
10月22日 250人 グリーンホール(小)	俳優 池田一臣 女優 江口ふじ子	芥川龍之介「羅生門」「鼻」

(7) 名画鑑賞会

期日・参加人数・会場	作品(原作者)	監督	出演
5月23日 400人 中央公民館ホール	にごりえ (樋口一葉)	今井 正	田村秋子 久我美子 ほか
6月28日 400人 中央公民館ホール	野火 (大岡昇平)	市川 崑	船越英二 滝沢修 ほか
9月20日 400人 中央公民館ホール	近松物語 (近松門左衛門)	溝口 健二	長谷川一夫 香川京子 ほか
10月16日 400人 中央公民館ホール	稲妻 (林芙美子)	成瀬巳喜男	高峰秀子 香川京子 ほか
12月13日 400人 中央公民館ホール	宴 (利根川裕)	五所平之助	岩下志摩 中山仁 ほか
3月18日 400人 中央公民館ホール	地の涯に生きるもの (戸川幸夫)	久松 静児	森繁久弥 司葉子 ほか

(8) その他の事業

事業名	期日	会場	内容
水木しげる原画展	10月5日～19日	図書館中央館	水木しげる(漫画家)の原画の展示
写真展	12月5日～22日	図書館中央館	『調布の道 そのⅡ』加藤純一郎(写真家)

3 第20回図書館まつり

主要テーマ「人から学び本から学ぶ 20回を迎えて、調布から発進」

事業名	期日・参加人数・会場	内容
文化講演会	2月1日 250人 グリーンホール(小)	「今なぜ、地方の時代か」 元NHKアナウンサー 勝部領樹
子ども映画会	2月2日 400人 中央公民館ホール	「風の又三郎」原作 宮澤賢治 監督 伊藤俊也
名画鑑賞会	2月4日 400人 中央公民館ホール	「息子」 原作 椎名 誠 監督 山田洋次

座談会	2月7日 250人 グリーンホール(小)	「新聞小説に取組んで「悲しみの港」」 作家 小川国夫、司 修
人形劇公演	2月9日 250人 グリーンホール(小)	「たっちゃんとお兄ちゃん」「赤いマリ」 人形劇団 れもん座
著者を囲む会	2月12日 100人 山田屋お米館	「宴(うたげ)」 作家・テレビキャスター 利根川裕
児童文学講演会	2月13日 50人 市民センター	「子どもが読んでもおもしろく おとなが読んでもおもしろく」児童文学者 齊藤 洋
朗読の会	2月13日 250人 グリーンホール(小)	「ペロ出しチョンマ」「竹の神」「夏みかん」 俳優 佐藤祐四、女優 東恵美子
講演会	2月15日 250人 グリーンホール(小)	「私の映画作り「息子」」 映画監督 山田洋次
第20回市民句会	2月21日 250人 グリーンホール(小)	「選評と俳話」飯田龍太、上田五千石、黒田杏子、澤木欣一、鷹羽狩行、星野麦丘人、渡辺恭子
第19回市民歌会	2月23日 100人 総合福祉センター	「選評と講話」 片山貞美、米嶋靖生、宮地伸一
講演会	2月28日 250人 グリーンホール(小)	「歌舞伎の魅力ア・ラ・カルト」 歌舞伎俳優 尾上松助
時局講演会	2月29日 100人 総合福祉センター	「日本農業、生き残りへの道」 東京農工大学名誉教授 梶井功
筆蹟・横顔展	2月1日～2月17日 西友調布店	調布市の図書館を訪れた作家・評論家・詩人 学者・芸術家の直筆と写真
俳句・短歌展	2月1日～2月16日 図書館中央館	俳句・短歌サークル会員の作品発表
日本画展	2月19日～3月5日 西友調布店	日本画サークル会員の作品発表

4 調布ブッククラブ

昭和48年2月に、図書館を拠点とする学習サークルの連合体として発足した「調布ブッククラブ」は、「読むこと」「書くこと」そして「どう生きるかを考える」をテーマに学習を深め、相互啓発を図る幅広い活動を展開している。

平成3年度には57サークルが学習活動し、692人の会員登録があった。

(1) 事業

事業名	期日・参加人数・会場	講師及び内容
たきおん公開合評会	5月12日 30人 総合福祉センター	社会教育指導員 林 一夫 文芸誌「たきおん27号」
緑蔭日本画展	6月26日～7月10日 西友調布店	日本画3サークルによる合同作品発表 (指導・田中與之子)
ブッククラブ総会と朗読を楽しむ会	7月5日 250人 グリーンホール(小)	女優 山本与志恵、俳優 山路和弘 朗読「おにばば」「風の色」「馬鹿一」ほか
合同歌会	8月25日 100人 総合福祉センター	片山貞美、来嶋靖生、宮地伸一 短歌6サークルによる合同歌会
公開合同読書会	8月28日 100人 総合福祉センター	社会教育指導員 古田 耿介 「注文の多い料理店」(宮沢賢治)
公開互葉読書会	9月11日 30人 若葉分館	文芸評論家 遠丸 立 「樹影」(佐多稲子著)
朱彩会日本画展	9月30日～10月12日 画廊サンマロー	日本画サークル「朱彩会」による作品発表 (指導・田中與之子)
たきおん公開合評会	11月10日 30人 総合福祉センター	社会教育指導員 林 一夫 文芸誌「たきおん28号」
日本画展	11月21日～12月5日 西友調布店	日本画3サークルによる合同作品発表 (指導・田中與之子)
人から学び本から学ぶ感謝の集い	12月20日 650人 中央公民館ホール	歌手 嶋三喜天 第20回図書館まつりに向けて
日本画展	2月20日～3月5日 西友調布店	日本画3サークルによる合同作品発表 (指導・田中與之子)

(2) 刊行物

刊行物名	発行日	内容
文芸誌「たきおん27号」	4月14日	創作サークル「たきおん」会員による文芸誌
文芸誌「たきおん28号」	10月13日	創作サークル「たきおん」会員による文芸誌
「'92調布カレンダー」	10月20日	版画家・関野準一郎の「東海道五十三次」の月曆
随筆集「扉(とびら)9号」	11月16日	創作サークル「随想を書く会」会員による随筆集

(3) 読書グループ

サークル名	定例日・会場・会員数	講師	テキスト
あすなろ読書会	第2木曜日 午前 中央公民館ほか 10人	社会教育指導員 古田 耿介	「青べか物語」山本周五郎著 「青梅雨」永井龍男著 ほか9冊
柏読書会	第4木曜日 午後 会員宅 6人	社会教育指導員 林 一夫	「おろしや国酔夢譚」井上靖著 「人間失格」太宰治著 ほか9冊
古典文学を讀む会	第1土曜日 午後 若葉分館 14人	——	「徒然草」第19段から第80段まで
互葉読書会	第2水曜日 午後 若葉分館 9人	文芸評論家 遠丸 立	「白痴」坂口安吾著 「冬のかたみに」立原正秋著 ほか7冊
七宝読書会	第2水曜日 午前 富士見分館 9人	社会教育指導員 古田 耿介	「こころ」夏目漱石著 「伊豆の踊子」川端康成著 ほか9冊
針布読書会	第3木曜日 午前 神代分館 14人	高崎芸術短大教授 萩原 祥三	「エビと日本人」村井吉敬著 「染彩」芝木好子著 ほか8冊
清和読書会	第4木曜日 午前 富士見分館 8人	社会教育指導員 古田 耿介	「火宅の人」檀一雄著 「一絃の琴」宮尾登美子著 ほか9冊
つくし読書会	第3火曜日 午後 多摩川親交会館 7人	社会教育指導員 林 一夫	「あすなろ物語」井上靖著 「花のれん」山崎豊子著 ほか9冊
読書会 夜行列車	第2水曜日 夜間 中央館 8人	——	「坑夫」夏目漱石著 「私の旧約聖書」色川武大著 ほか10冊
白鳥読書会	第1木曜日 午前 神代分館 8人	社会教育指導員 古田 耿介	「焚火」水上勉著 「冬の雁」三浦哲郎著 ほか9冊及び「伊勢物語」
ふたば読書会	第4水曜日 午前 若葉分館 13人	社会教育指導員 古田 耿介	「小僧の神様」志賀直哉著 「天平の甕」井上靖著 ほか9冊
芙蓉読書会	第3土曜日 午前 国領分館 9人	社会教育指導員 古田 耿介	「小説家の休暇」三島由紀夫著 「伸子」宮本百合子著 ほか9冊及び「万葉集」
緑ヶ丘読書会	第4水曜日 午前 緑ヶ丘分館 5人	社会教育指導員 林 一夫	「男どき女どき」向田邦子著 「がらくた博物館」大庭みな子著 ほか9冊
宮の下読書会	第2火曜日 午前 宮の下分館 8人	社会教育指導員 林 一夫	「平成維新」大前研一著 「死の棘」島尾敏雄著 ほか9冊
名作読書会	第2金曜日 午前 中央公民館ほか 15人	社会教育指導員 林 一夫	「花影」大岡昇平著 「'91年度版ベスト・エッセイ集」日本エッセイスト・クラブ編 ほか9冊
やまなみ読書会	第1火曜日 午前 深大寺分館 8人	社会教育指導員 古田 耿介	「聖職の碑」新田次郎著 「それから」夏目漱石著 ほか9冊
若葉読書会	第1・3水曜日 午後 若葉分館 11人	——	「源氏物語」

(4) 研究グループ

サークル名	定例日・会場	講師	内 容
赤彦・茂吉を 読む会	第3木曜日 午後 中央公民館ほか	歌人 宮地 伸一	斎藤茂吉の作品と人物を探究
一遍上人を 読む会	第3木曜日 午後 総合福祉センターほか	作家 栗田 勇	一遍の思想と生き方を探る
近代史を 学ぶ会	第1月曜日 午前 総合福祉センターほか	高崎芸術短大教授 萩原 祥三	明治から近代の歴史を学ぶ
紅樓夢を 読む会	第1・3木曜日 午後 佐須分館	——	中国の清朝を代表する文学作品「紅樓夢」の輪読と解釈
聖書を読む会	第2水曜日 午前 総合福祉センターほか	元立教大学教授 赤司 道雄	福音書を通じたイエスの研究
太平記を 読む会	第4水曜日 午後 佐須分館	——	歴史文学の古典書である「太平記」の輪読と解釈
芭蕉・蕪村を 読む会	第4火曜日 午前 市民センターほか	工学院大学名誉教授 松尾 晴秋	松尾芭蕉・与謝蕪村の2大俳人の作品の解釈と鑑賞
枕草子を 読む会	第3日曜日 午前 総合福祉センターほか	歌人・国文学者 片山 貞美	平安朝文学の解釈と鑑賞
万葉集を 読む会	第3土曜日 午後 第百生命	歌人・国文学者 片山 貞美	短歌の原点の解釈と鑑賞
民俗学 入門の会	第1水曜日 午前 総合福祉センターほか	日本民俗学会会員 菊地 正	身近な伝承や民俗学を学ぶ
論語を読む会	第4土曜日 午前 総合福祉センターほか	職 員	論語の素読と解釈

(5) 創作グループ

サークル名	定例日・会場・会員数	講師	内 容
随想を書く会	第3土曜日 午前 神代分館 23人	社会教育指導員 林 一夫	随筆集「原(とびら)」9号の合評と創作活動
たきおん	第2日曜日 午後 総合福祉センター15人	社会教育指導員 林 一夫	文芸誌「たきおん」27・28の合評と創作活動
童話創作の会	第3金曜日 午前 中央公民館ほか 9人	児童文学者 西本 鶴介	童話の創作・発表とその合評
みちくさ	第3木曜日 午前 深大寺分館 5人	職 員	小説・短歌などの創作と合評

(6) 俳句・短歌グループ

サークル名	定例日・会場・会員数	講師
火 曜 句 会	第2火曜日 午後 神代分館 14人	俳人 緒方 梧葉
煌(きら)ら 句 会	第3金曜日 午後 中央公民館ほか 24人	職 員
金 曜 句 会	第2金曜日 午後 中央公民館ほか 15人	俳人 原田走日朗
合 同 句 会	第3土曜日 午後 市民センターほか 16人	職 員
水 曜 句 会	第4水曜日 午後 若葉分館 22人	俳人 丹生谷百合
た つ く り 句 会	第3木曜日 午後 中央公民館ほか 14人	俳人 原田走日朗
♪ (にすい) 句 会	第2水曜日 午後 市民センターほか 11人	俳人 下川 紀水
二木(にもく)句会	第2木曜日 午後 市民センターほか 22人	職 員
風舎(ふうしゃ)句会	第2土曜日 午後 市民センターほか 20人	俳人 若月 瑞峰
み ず き 句 会	第2金曜日 午後 市民センターほか 27人	職 員
木 曜 句 会	第1木曜日 午後 中央公民館ほか 11人	俳人 斎藤 徳司
からすうり歌会	第2月曜日 午後 会員宅 17人	会 員
水嶺(すいれい)歌会	第3金曜日 午後 市民センターほか 21人	国文学者・歌人 片山 貞美
潮 流 歌 会	第4日曜日 午前 総合福祉センターほか 19人	歌人 宮地 伸一
福 寿 草 歌 会	第3金曜日 午前 神代分館 11人	職 員
三 日 月 歌 会	第4水曜日 午後 市民センターほか 20人	歌人 米嶋 靖生
径 歌 会	第4日曜日 午後 市民センターほか 16人	国文学者・歌人 片山 貞美

(7) 絵画グループ

サークル名	定例日・会場・会員数	内容	講師
彩雅会	第1・3火曜日 午前 総合福祉センター 14人	日本画	画家 田中與之子
朱彩会	第1・3土曜日 午前 総合福祉センター 15人	日本画	画家 田中與之子
碧彩会	第1・3土曜日 午前 総合福祉センター 14人	日本画	画家 田中與之子

(8) 放送番組で学習するグループ

サークル名	定例日・会場・会員	指導	内容
古典講読の会	第2木曜日 午前 中央公民館ほか 8人	会員	ラジオ放送番組「古典講読」で枕草子を読み、学習する。併せて源氏物語を読み、理解を深める。

(9) 文学散歩同好会

回次	期日・参加人数・場所	講師	内容
353	4月16日 長野県 48人	諏訪市立図書館長 三村 武	平林たい子の「夜風」、土屋文明の諏訪湖畔、宇野浩二の「亀屋」、赤彦、新田次郎記念館
354	5月19日～21日 岩手県・秋田県 38人	(宮澤賢治実弟) 宮澤 清六	岩手山麓の新緑、啄木の渋民村、賢治・光太郎の花巻、北上川と田沢湖の茂吉
355	5月28日 文京区 59人	文京区文化財専門委員 戸畑 忠政	一葉の「にこりえ」と終焉の地、啄木・秋声・賢治・芙美子の本郷
356	6月7日 新宿区 48人	新宿区文化財専門委員 高橋 清輔	神楽坂の鏡花、子規、白秋、紅葉と須磨子、抱月の比翼塚、漱石山房跡
357	6月18日 足利市・館林市 44人	前足利市教育次長 森江 貞次 田山花袋研究会会長 福地 昭二	新緑の足利学校と鑊阿寺の「太平記」、田山花袋の「河ぞひの春」の館林
358	7月12日 府中市 13人	声楽家 大内壽恵磨	緑陰の多磨霊園に眠る向田邦子・堀辰雄・田山花袋・三島由紀夫・菊池寛・与謝野晶子を訪ねる
359	9月18日 世田谷区 61人	世田谷区文化財専門委員 人見 輝人	松陰神社と井伊直弼の豪徳寺、世田谷城主吉良家の勝光院、代官屋敷
360	9月30日～10月1日 長野県 42人	元飯山市立図書館長 古田十一郎 一茶記念館長 清水 哲	信州飯山の藤村の「破戒」と木島平、堀辰雄の「晩夏」、一茶の柏原と野尻湖、戸隠

361	10月15日 港区 38人	港区史跡の会代表 森崎 次郎	独歩・蘆花・直文・百合子の青山霊園、茂吉の童馬山房跡、草田男句碑
362	10月30日 山梨県 40人	山梨学院大学図書館長 石水 隆	蛇笏の「家郷の霧」、宮澤賢治と身延山、深沢七郎の「笛吹川」と山梨県立文学館
363	11月14日 葛飾区 48人	葛飾区郷土と天文の博物館 堀 充宏	伊藤左千夫の「野菊の墓」、矢切の渡し、潤一郎の「川甚」と柴又帝釈天、八幡神社
364	11月25日～26日 岐阜県 45人	高山市郷土史家 泡原口良三 八幡町文化財審議委員 佐藤とき子	龍井孝作・江馬修の飛騨高山、郡上八幡の殿岡辰雄、宝暦義民碑と八幡城
365	12月10日 台東区 44人	浅草文庫 小木曾淑子	樋口一葉の「たけくらべ」の竜泉寺町と一葉記念館、吉原弁天、鷲神社
366	1月9日 鎌倉 50人	鎌倉文学館副館長 鹿兒島達雄	鎌倉の古刹、建長寺の葛西善蔵、石塚友二、長寿寺、円応寺、浄光明寺
367	1月30日 神奈川県 52人	真鶴町社会教育指導員 外木 博文 中川一政美術館 柴山 光平ほか	新春の相模湾を望む真鶴岬の芥川龍之介、与謝野晶子と中川一政美術館
368	3月2日～3日 静岡県 42人	焼津小泉八雲顕彰会会長 北山 宏明 藤枝文学舎 佐野 明	焼津の小泉八雲の「海のはとり」、藤枝の小川国夫の「酒の思い出」、藤枝静男の「悲しいだけ」と御前崎
369	3月26日 墨田区 50人	墨田区文化財保護指導員 五味 和之	露伴・子規の向島百花園と芭蕉・柳北の長命寺、桜橋

IX 視聴覚ライブラリー

視聴覚教育活動の普及と視聴覚ライブラリーの利用促進を図るため、教材・機材を整備し、次の事業を実施した。

また、一般家庭に普及したビデオを視聴覚教育活動に取り入れるため、ビデオ機器を整備した。教材においては、図書館事業である講演会の記録テープを作成する一方、市販テープの収集も実施した。

1 事業

(1) 16ミリ発声映写機操作認定講習会

映写機の基礎的な構造の理解と操作技術の修得に重点をおいて、フィルムの取扱いや映写会の安全運営についても理解を深めるために講習会を実施した。これにより、市内各地域での視聴覚教育の普及と映画会の安全が確保された。

期 日 第1回 5月29日～5月31日（3日間で計12時間の講習）

第2回 6月22日・6月23日（2日間で計12時間の講習）

修了者 33人（2回の合計人数）

(2) 16ミリ発声映写機検定

16ミリ映写機及びフィルムの安全利用のため、小・中学校、事業所等の保有する16ミリ映写機の機能等の検定を実施した。また、この検定は年1回だが、新規購入分の映写機については随時実施した。

期 日 6月27日～6月29日

検定台数 81台

(3) 16ミリフィルム試写と研修会

映画会のフィルム選定に役立つよう、当ライブラリーの所蔵フィルムや試写フィルムを上映した。同時に、操作技術修得者を対象とする映写機操作の再実習を実施し、フィルムと機材の安全利用の徹底を図った。また、機材・教材の利用案内と情報交換も積極的に実施した。

(4) 地域における映画会の指導・援助

映画会の開催、フィルムの選定に関する相談等、地域の視聴覚活動の窓口として、地域映画会の援助・育成を実施した。

(5) 都立多摩社会教育会館からの16ミリフィルムの配送

東京都立多摩社会教育会館では、市町村の利用団体に便宜を図るため、各市町村の視聴覚ライブラリー等を貸出し窓口として16ミリフィルムの配送サービスを実施しており、当ライブラリーにおいても、年々このサービスの利用が増加している。

2 視聴覚教材・機材の利用状況

平成3年度月別視聴覚教材・機材貸出数（保有数は4,331現在）

教材・機材	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	保有数
16ミリフィルム		30	43 (2)	42 (1)	80 (1)	55	67 (1)	46 (2)	66 (3)	89 (1)	33 (4)	51 (2)	49 (1)	651 (18)	383
16ミリ映写機		7	10	15	15	15	11	14	6	22	6	8	14	143	13
スライドフィルム					1									1	261
スライド映写機		1	2	1	1	3		2	3	3		4	3	23	7
8ミリ映写機					1	1		1				2		5	4
オーバーヘッドプロジェクター (OHP)			1					1	3	1		3	1	10	3
スクリーン		1	5	5	4	8	5	4	7	8		8	3	58	12
暗幕			1	13	2	1	13	5		26	10		7	78	6
拡声装置								2	2					4	2
テープレコーダー						1	1	1	1					4	3

[]内は都立多摩社会教育会館配送フィルム

平成3年度月別視聴覚教材・機材団体別利用者数

団体別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
官公署		623	373	537	228	100	46	808	447	430	28	169	414	4,203
図書館		117	459	797	111	408	263	212	157	843	66	141	115	3,689
幼稚園		96	376	451	1,478	950	876	108	253	1,347	115	1,566	705	8,322
保育園		55	88	876	165		205	320	115		50	74	179	1,927
児童館		532	483	532	1,066	120	1,149	523	992	621	389	533	341	7,221
小学校			945	917				59	248		92	76	62	2,399
中学校				162				310	845		293	25	370	2,005
高校・大学等							174		325					499
社会教育団体					548	102			40	108	139		294	1,231
福祉関係団体							326		273					599
地域団体		70		23	321	35			20	310		55	35	869
その他		53	73	40		140	392	86	52	436	80	526	232	2,110
計		1,546	2,797	4,135	3,857	1,855	3,431	2,426	3,767	4,095	1,253	3,165	2,747	35,074

平成3年度月別16ミリフィルム団体別貸出件数・本数

団体	月												合計	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	合計
官 公 署	1:1		1:1	3:4	3:14	2:2	3:10	5:10	2:3	1:1	1:1	2:2	24	49
図 書 館	1:1	3:6		1:2	10:24	1:2	2:5	1:2	16:29	1:1	3:5	3:6	42	83
幼 稚 園	1:2	3:6	2:3	7:17	2:5	4:11	2:4	1:3	7:15	1:3	6:13	4:7	40	80
保 育 園	1:2	1:1	3:7	2:5		3:6	4:8	3:7		9:3	1:2	2:4	21	45
児 童 館	8:21	8:16	8:17	13:20	2:5	13:28	7:12	9:22	10:18	1:18	7:16	6:9	100	202
小 学 校		2:6	2:6	1:2			1:2	2:6		1:3	1:2	1:2	11	29
中 学 校		1:2	1:3					1:1		1:1	1:1	1:1	6	9
高 校・大学他								1:10					9	10
社会教育団体		1:4		5:17	3:7			1:2	2:3			3	15	42
福祉関係団体		1:4						1:1					3	7
地 域 団 体	1:3		2:5	3:13				1:2	2:10		1:9		10	42
そ の 他		1:2				2:12	2:5		5:11	1:3	1:2	2:9	14	44
合 計	13:30	20:43	19:42	35:80	20:55	27:67	21:46	26:66	44:89	16:33	22:51	24:49	287	651
		2:6	1:2		1:2	1:1	2:3	3:6	1:1	4:6	2:3	1:2	18	32

(左側は件数、右側は本数。2段ある場合の下段は、都立多摩社会教育会館配送フィルム。)

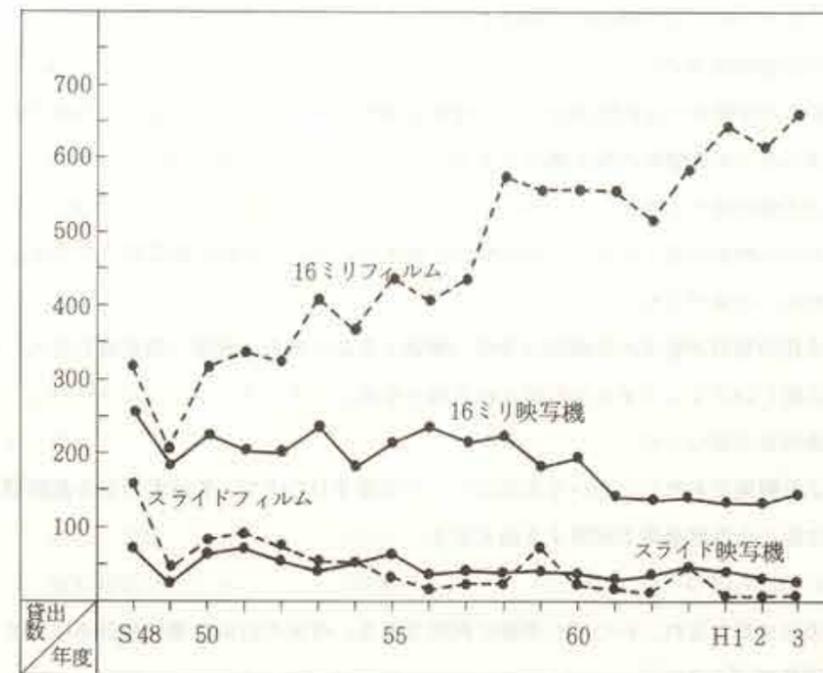
年度別視聴覚教材・機材保有数及び貸出数

(上段は利用数、下段は保有数)

教材・機材	年度	S48	49	50	55	56	57	58	59	60	61	62	63	H1	2	3
		16ミリフィルム	315	205	313	438	406	435	572	556	556	554	518	585	648 (25)	619 (31)
16ミリ映写機	255	187	225	218	234	219	223	185	195	146	140	141	139	137	143	
スライドフィルム	158	42	86	32	19	25	25	72	27	20	17	45	7	7	1	
スライド映写機	70	26	64	69	39	40	39	40	39	24	37	49	41	30	23	
8ミリ映写機	29	22	20	16	17	33	16	5	5	3	3	5	2	1	5	
オーバーヘッド プロジェクター		10	6	3	1	10	12	21	19	8	14	15	8	8	10	
		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	

() 内は都立多摩社会教育会館配送フィルム

年度別主要視聴覚教材・機材貸出数の推移



X 将来計画と新中央図書館構想

調布市立図書館は、開館以来、図書資料や事業をとおして市民生活の中に根をおろし、生涯教育をはじめ、様々な文化活動の場として定着している。社会教育施設の中でも利用率の高い施設の一つにあげられる。

それは、市民の図書館に対する期待が大きいということでもあり、それだけに図書館は市民の求めるものを的確にとらえて、時代に即応したサービスを提供していかなければならない。

現在、図書館では、市民のニーズを基本にして、蔵書の充実、施設の整備、新中央図書館建設などの計画を推進している。

特に新中央図書館は、市民の要望も多く、図書館機能のレベルアップ、そして単に図書館一施設だけの問題ではなく、市の社会教育行政の充実、市民文化の向上という点からも早期完成が望まれる。

今後の課題としては、基本計画に掲げられている計画をさらにおし進めるとともに、図書館の利用圏や市民の生活動線を再検討した分館体制の見直し、さらに、開館以来の歴史と活動の実績を貴重な財産としながらも、常に新鮮な目で図書館活動をみつめ、市民の要求に応えられる図書館づくりが必要である。

なお、新中央図書館は現在、次のテーマを基本理念として計画が進められている複合施設（仮称・市民文化プラザ）の一環として構想されている。

1 学習活動の場づくり

新しく学習すべき内容が次々出現する時代にあって、「どこでも、だれでも、いつでも学べる」生涯学習の推進拠点とする。

2 文化活動の場づくり

地域の歴史や風土に根ざした個性的で特色のある調布文化の創造拠点とする。

3 ふれあいの場づくり

文化的豊かさを求める傾向は今後一層強まることから、文化活動を通じた人のふれあいから新しいコミュニティが形成される場とする。

4 健康増進の場づくり

より健康でありたいという市民のニーズの高まりの中で、乳幼児期から高齢期までの年齢に応じた保健事業を展開する場とする。

5 憩いのひろばづくり

市民に親しまれ、いつでも気軽に利用できる、市民の自由な憩いのひろばとする。

6 情報基地づくり

行政サービスや市民文化の向上を図るため、高度な情報機能を取り入れながら、行政及

び市民が相互に情報の提供や利用を行える情報システムを構築するなど、地域の情報化を進める拠点として構想する。

7 国際交流の場づくり

広く世界の人々と交流し、世界各国の様々な文化に対する認識を深めることにより、国際性を養い、また同時代にそれぞれの文化圏で生きる人々を理解することにより、国際平和と親善に寄与する場として構想する。

新中央図書館計画案の概要は次のとおりである。今後、複合施設の中で全体の調和を図りながら決定されることになる。

1 施設の機能及び基本的性格

25万冊の蔵書を持ち、市内10カ所の分館を有機的に結び、資料、調査、運営等にわたって図書館システムの総合調整機能を果たす中央図書館とする。

また、各種情報資料及びコンピュータによるデータベースの活用を図る等、先端技術を駆使して多様な情報提供サービスを展開する。市民の情報センターとしての性格を持つものとする。

2 各スペースの計画

(1) 4階 860㎡ 収容人員450人

(ア) 一般開架室 560㎡

一般開架室は、新中央図書館のメインフロアを構成する最も重要な空間である。児童・高齢者を含む一般市民、職業人、研究者、学生、外国人等、多岐にわたる利用者が自由に利用できるよう配慮するとともに、障害を持つ人びとについても同様である。

4階部分の一般開架室のスペースは、図書（実用書、文学、旅行ガイド、文庫本等）、新聞、雑誌等からなる開架資料のスペース、資料検索コーナー、コピーサービス等で構成される。

(a) 機能

資料の閲覧、貸出、返却、複写、展示、検索、相談等、図書館資料に関する基本的な利用サービス及び提供を行う。

(b) 構成

図書	5万冊
新聞・雑誌コーナー	500誌 24席
資料閲覧コーナー	28席
利用者用端末	2台
コピー機	1台

(イ) 児童室 300㎡

児童室の利用者は、幼児から中学生くらいまで幅広く、2～3段階の年齢層に応じたスペースを用意する。

書架は、120cm、4段程度を上限とし、机の形は、スペースの有効利用を考えた種々の組合せをするとともに、正しい姿勢での読書を基本とするため、椅子にも配慮する。

(a) 機能

資料の閲覧、貸出、返却、複写、展示、検索、相談等、図書館資料に関する基本的な利用サービス及び提供を行う。

(b) 構成

図書	2万冊
児童用閲覧コーナー	36席
利用者用端末	1台
おはなし室	50人(収容)

子どもたちに読書の喜びを知らせるために、読み聞かせや、お話をする部屋がおはなし室である。小学生以下の50人前後の子どもが入れるスペースを確保する。

なお、通常は親子で利用できる読書コーナーとして開放し、機能としては、おはなし会、小学生読書会、ミニ映画会、図書館主催の児童向け各種行事を行う。

(2) 5階 860㎡ 収容人員300人

(ア) 一般開架室 460㎡

一般開架室は、4階と5階にそれぞれ振り分け5階部分には、やや専門的な分野の図書資料を中心に備える。

(a) 構成

図書	5万冊
資料閲覧コーナー	44席
利用者用端末	2台
コピー機	1台

(イ) レファレンス室 400㎡

レファレンス室は、参考図書群、目録、新聞縮刷版、全国の電話帳、郷土資料、行政資料等により構成する。また、調査・研究にふさわしい静かな閲覧スペースを確保する。

(a) 機能

調査・研究のための資料提供、図書館資料に関する相談業務を行うとともに、調布市政に関する資料の収集及び提供等を行う。

(b) 構成

参考図書	1万冊
------	-----

郷土・行政資料コーナー	1万冊
資料閲覧コーナー	30席
利用者用端末	1台
コピー機	1台

(ウ) 映画関係資料コーナー

全国レベルでの映画関係資料その他の資料の収集を図り、保存を中心にしながらも、一部展示スペースを設けて公開する。

日本映画関係資料	1万冊
展示コーナー	

(3) 6階 860㎡

(ア) 朗読・点訳コーナー 120㎡ 収容人員200人

録音資料及び点字資料、対面朗読室、録音室等により構成する。また、作業スペースは、貸出、返却、郵送、録音、点訳等の事務や作業のほか、利用者及びボランティアの人びととの打合せや相談にも使用する。

(a) 機能

通常の図書館サービスと同様のサービスを提供することを目的とし、おもに視覚障害者を対象にした諸事業を行う。

(b) 構成

対面朗読室	2室
録音室	2室
点訳奉仕ルーム	
資料閲覧コーナー	

(イ) 学習室 200㎡

(a) 機能

原則として、図書館資料を用意しないで、学習専用のスペースとして機能させる。その際、席の順番を待つ人の行列に配慮するとともに学生のための専用とせず、社会人も利用できるよう配慮する。

(b) 構成

学習用机	100席
社会人用机	20席

(ウ) 読書会室 96㎡

読書会室は市民の自発的な生涯学習と、その創造的活動とを援助するという図書館本来の活動の一環として設け、図書館のもつ資料とサービスとの関連のもとで読書会等の

集会活動の場として活用する。

(a) 機能

30人前後の集会活動が随時開催することができるよう2室を用意し、図書館を利用する市民の読書会等及び市民を対象とした諸事業を行う。

(b) 構成

読書会室 30席×2室

(c) 小会議室

20人程度の会議等多目的に使用可能なスペースとして活用する。

(a) 構成

会議室 20席

(b) 電算室 30㎡

調布市立図書館のすべての蔵書を電算によって管理し、資料管理の充実とサービスの質的向上を図るとともに、図書館電算システムの拠点とする。

(c) 選書室

出版物に直接あたって受入れの是非を決める等、購入予定図書や寄贈図書等多様な図書の選定を行うとともに、これらの図書の選定会議ができるようなスペースも確保する。

(d) 装備室 48㎡

受入れの決定した図書資料について各館毎に、電算用ラベルや、分類ラベル、バーコードラベル等の図書装備を行う。

(e) 整理室 82㎡

図書、新聞、雑誌、その他図書館資料の受入れ、整理、除籍及び修理等を行うとともに、納入された図書等の荷解き、検品、配送荷造り作業(メール作業を含む)等を行う。

(f) 休憩コーナー

学習室、読書会室等の利用者がくつろぐスペースとして用意する。また、同時に展示スペースを用意し図書館からの情報提供の場として各種の企画展示を行う。

(4) 地下1階 400㎡

書庫 400㎡

閉架書庫は、開架スペースに収容できない資料(貴重書、利用頻度の低下したもの、その他開架できないもの)を一定期間保存するとともに、5年分の雑誌のバックナンバー、新聞、逐次刊行物を収容する。

(a) 機能

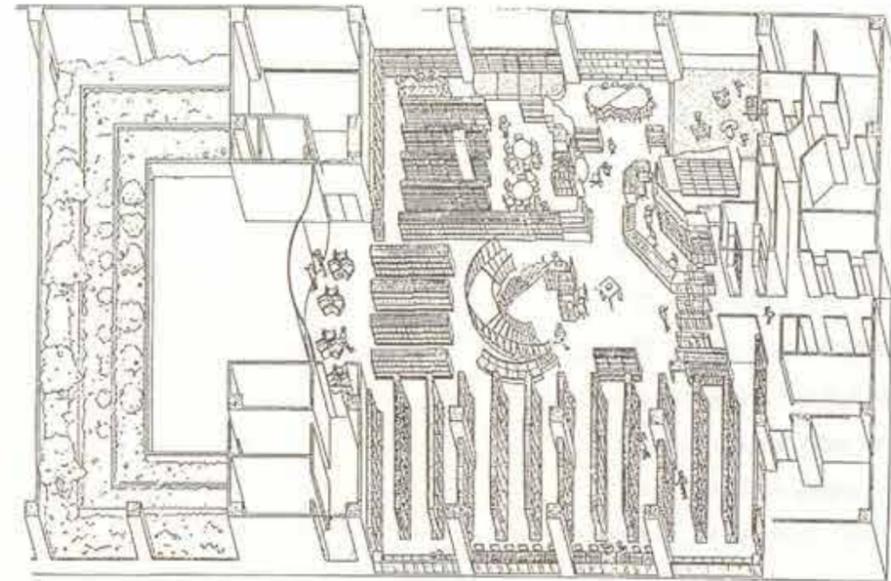
開架部分の延長として、バックアップ機能を十分果たせるよう位置づける。また、スペースの有効活用を図るため書架は積層書架として下段を固定書架、上段を電動式

可動書架とする。

(b) 構成

固定書架 10万冊

電動式可動書架 15万冊



新中央図書館 4階 一般開架室・児童室立体図

XI 資料

1 運営組織

調布市立図書館の運営は、次に掲げる調布市の条例・規則によって定められている。さらに、条例等に基づいて、規程や要綱が設けられており、日常の図書館活動を管理、運営している。

- (1) 調布市立図書館設置条例（昭和41年3月30日条例第10号）
- (2) 調布市立図書館館則（昭和41年3月30日教育委員会規則第1号）
- (3) 調布市立図書館処務規程（昭和41年3月30日教育委員会規程第1号）
- (4) 調布市立視聴覚ライブラリー運営要綱（昭和41年11月1日教育委員会要綱）
- (5) 調布市立図書館録音テープ図書貸出要綱（昭和41年11月1日教育委員会要綱第3号）
- (6) 調布市立図書館集会室使用基準（昭和41年11月1日教育委員会基準）
- (7) 調布市立図書館協力員に関する内規（昭和50年4月1日教育委員会内規）

2 分掌事務

庶務係

- (1) 公印の保管に関する事。
- (2) 文書の收受、発送に関する事。
- (3) 施設、設備の維持管理に関する事。
- (4) 企画運営統計及び調査に関する事。
- (5) 関係各機関との連絡に関する事。
- (6) 予算の編成及び執行に関する事。
- (7) 館内の取締りに関する事。
- (8) その他、他係に属さない事項に関する事。

図書係

- (1) 図書資料並びに視聴覚資料の収集、整理、保管及び利用に関する事。
- (2) 製本及び資料の修理に関する事。
- (3) 読書案内及び読書相談に関する事。
- (4) 読書会、研究会、講演会、映写会、鑑賞会等の開催及び奨励に関する事。
- (5) 郷土資料に関する事。
- (6) 図書室の利用及び管理に関する事。
- (7) 図書資料の相互貸借に関する事。

3 開館日と休館日

館別	開館時間	休館日
中央館	日・水・木・金曜日 10時30分～17時30分	月曜日 第3日曜日 第4金曜日
	火・土曜日 10時30分～19時00分	
分館	火～金曜日 13時00分～17時00分	
	土・日曜日 10時30分～17時00分 (つつじヶ丘分館は土・日も13時00分～17時00分)	

○休館日はこのほかに、国民の祝日（この日が月曜日の場合は翌日）

年末年始

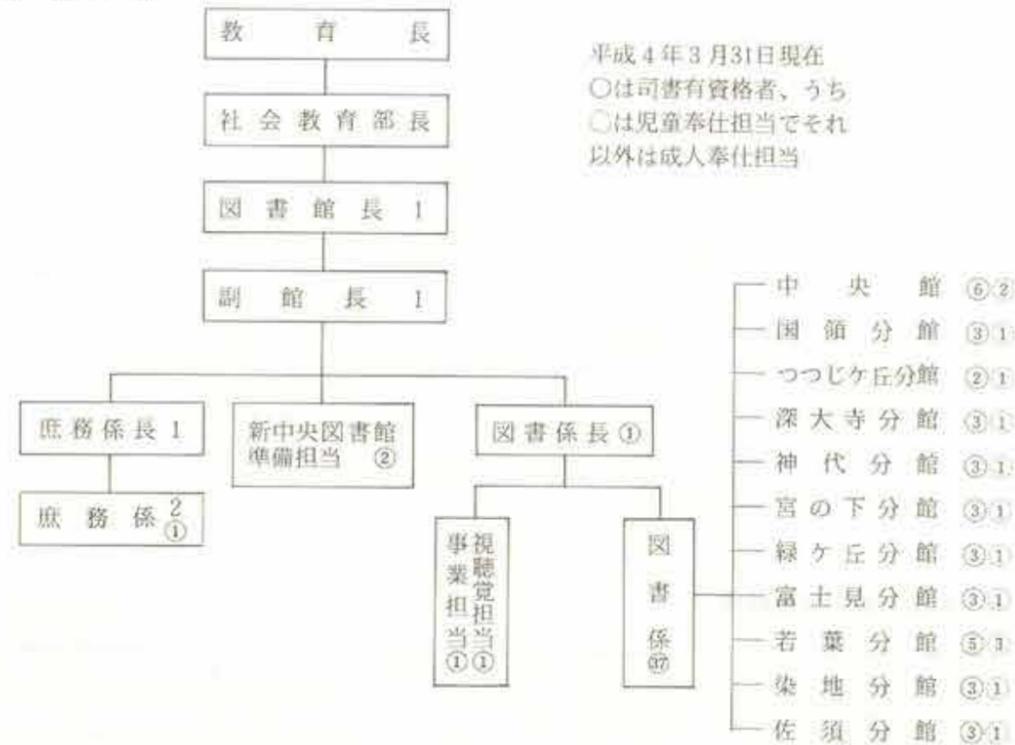
臨時休館（その都度お知らせする）

4 開館日数と開館時間

平成3年度

館	月	平成3年度												合計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
開館日数	中央館	22	22	24	24	25	7	24	22	22	20	22	23	257
	染地分館	22	18	16	24	25	7	24	22	22	20	22	23	245
	佐須分館	22	18	16	24	25	7	24	22	22	20	22	23	245
	他の分館	22	18	16	24	25	21	24	22	22	20	22	23	259
開館時間	中央館	166	164.5	181.5	181.5	188.5	52	181.5	166	164.5	150.5	166	174.5	1,937
	染地分館	105.5	100.5	118.5	113.5	120	35.5	113.5	103	105.5	95	108	112	1,230.5
	佐須分館	105.5	100.5	118.5	113.5	120	35.5	113.5	103	105.5	95	108	112	1,230.5
	つつじヶ丘分館	88	88	96	96	100	84	96	88	88	80	88	92	1,084
開館時間 他7館 各1月当り	各館	105.5	100.5	118.5	113.5	120	104	113.5	103	105.5	95	108	112	1,299
	合計	738	703.5	829.5	794.5	840	728	794.5	721	738.5	665	756	784	9,093
合計	開館日数	242	202	184	264	275	189	264	242	242	220	242	253	2,819
	開館時間	1,203	1,157	1,344	1,299	1,368.5	935	1,299	1,181	1,202	1,085.5	1,226	1,274.5	14,575

5 組織図



6 年度別職員数の推移

(数値は3月31日現在)

年度	館長	副館長	係長	事務職	中央館 司書	分館 司書	小計	名譽 館長	その他	合計
S41	(兼)1			2	2		5	1	1	7
42	1			2	4		7	1	1	9
43	1		1	2	4		8	1	2	11
44	1		2	2	4	2	11	1	2	14
45	1		2	2	4	4	13	1	2	16
46	1		1	2	4	8	16	1	2	19
47	1		1	4	5	10	21	1	3	25
48	1		1	4	6	10	22	1	4	27
49	1		1	5	5	18	30	1	6	37
50	1	1	1	6	5	20	34	1	8	43
51	1	1	1	6	6	20	35	1	7	43
52	1	1	2	5	6	22	37	1	6	44
53	1	1	2	5	6	23	38	1	8	47
54	1	1	2	5	6	24	38	1	8	47
55	1		2	5	6	27	41	1	8	50
56	1		2	5	6	27	41	1	7	49
57	1		3	3	7	30	44	1	7	52
58	1		3	3	7	31	45		8	53
59	1		3	3	7	31	45		8	53
60	1		3	3	8	31	46		8	54
61	1		3	3	8	31	46		8	54
62	1	1	2	3	8	31	46		8	54
63	1	1	1	3	8	31	45		9	54
H1	1	1	2	3	8	31	46		15	61
2	1	1	2	3	8	31	46		15	61
3	1	1	5	3	7	31	48		29	77

○その他とは、協力員、委託要員、嘱託、社会教育指導員。
○事務、司書は職種別人数(管理職、係長を除く)。
○係長は主査を含む。

XII 年 表

平成3年度のあゆみ

- 4/1 協力員23人委嘱
新中央図書館準備担当2人発令
- 6 図書館分館士・日曜日午前開館開始
- 12 朗読・点訳ボランティアの集い
- 5/8 中級朗読ボランティア講座(延15回) ~12/11
- 11 講演会(畑山博氏)
- 23 名画鑑賞会「にこりえ」
- 27 特別整理(曝書)各分館 ~6/10
- 29 16ミリ発声映写機操作認定講習会 ~5/31
- 6/1 協力員1人委嘱
- 7 時局講演会(平山健太郎氏)
- 11 図書館25周年記念座談会(小田切進氏・島田雅彦氏)
- 20 電算用「利用カード」の登録受付開始
- 22 16ミリ発声映写機操作認定講習会 ~6/23
- 7/1 協力員1人委嘱
- 5 朗読を楽しむ会(山本与志恵氏・山路和弘氏)
- 13 平和を歌うコンサート(中山圭以子氏・大内壽恵磨氏・長岡輝子氏
山本茂實氏)
- 17 協力員1人委嘱
- 8/1 立川市立図書館より視察
- 8 平和祈念名画鑑賞会「黒い雨」
- 9/9 電算化に伴い臨時休館(中央館・染地・佐須分館) ~9/30
- 19 静岡県浜岡町より視察
- 20 名画鑑賞会「近松物語」
- 28 著者を囲む会(芦原すなお氏)
- 10/1 電算稼働(中央館・染地・佐須分館)
協力員1人委嘱
- 5 水木しげる原画展 ~10/19
- 16 名画鑑賞会「稲妻」
- 20 調布カレンダー頒布

- 10/22 朗読を楽しむ会 (池田 一臣氏・江口 ふじ子氏)
 25 小平市立図書館より視察
 26 文芸講演会 (桶谷 秀昭氏)
 国分寺市立図書館より視察
 11/20 文芸講演会 (利根川 裕氏)
 21 児童文学講座 (子どもの本に親しむ会) (延2回) ~ 11/22
 29 江東区立図書館より視察
 12/ 5 写真展 「調布の道」 (加藤 純一郎氏) ~ 12/22
 13 名画鑑賞会 「宴」
 21 時局講演会 (和田 春樹氏)
 1/11 新春講演会 (今西 祐行氏)
 29 足立区立中央図書館を視察
 日野市立中央図書館を視察
 30 早稲田大学演劇博物館を視察
 31 東京都立中央図書館を視察
 2/ 1 協力員1人委嘱
 第20回図書館まつり ~ 3/5
 作家・評論家・芸術家などの筆蹟・横顔展 ~ 2/17
 文化講演会 (勝部 領樹氏)
 俳句・短歌展 ~ 2/16
 2 子ども映画会 「風の又三郎」
 4 名画鑑賞会 「息子」
 町田市立中央図書館を視察
 7 座談会 (小川 国夫氏・司 修氏)
 9 人形劇公演 (れもん座)
 12 著者を囲む会 (利根川 裕氏)
 13 児童文学講演会 (齊藤 洋氏)
 朗読の会 (佐藤 祐四氏・東 恵美子氏)
 14 船橋市立図書館を視察
 15 講演会 (山田 洋次氏)
 19 日本画展 ~ 3/5
 20 愛知県刈谷市立中央図書館を視察
 21 愛知県犬山市立図書館を視察

- 2/21 第20回市民句会 (選評と俳話)
 22 協力員1人委嘱
 23 第19回市民歌会 (選評と講話)
 25 朗読の会 (山本 龍二氏・東 恵美子氏)
 26 兵庫県尼崎市立中央図書館を視察
 27 兵庫県神戸市立中央図書館を視察
 28 講演会 (尾上 松助氏)
 29 時局講演会 (梶井 功氏)
 3/18 名画鑑賞会 「地の涯に生きるもの」
 26 著者を囲む会 (江國 香織氏)

